

# 森林の整備



## 緑のボランティアの森記念造成事業「フォレスト21さがみの森」

神奈川県相模原市緑区



### 事業概要

「多様性」と「継続性」をテーマとした国民参加のモデルフォレストづくりを一層推進するために、活動を通じて「森と人」「人と人」の関係を再構築し森づくりの輪を広げるとともに、持続可能な地域社会の基盤となる、生態系豊かな森をつくり、森を活かす事業の展開をめざす。

主な活動は、①生物多様性や地域の環境に配慮した森林造成活動、②健全な森づくりのための知識・技術のスキルアップ、③地域・企業・学校等と連携し、自然とのふれあいを通して学ぶ森林環境教育、④森林環境のなかで心身をリフレッシュできる活動など。

### 事業成果

2020年3月に、造成からの活動成果や現在の生物相をまとめた冊子を発行した。森林整備作業も計画通りに進めていたが、2019年の台風で大きな被害があり、以降は台風復旧作業が中心となった。また、新型コロナウイルスの影響

で定例活動の回数も少なくなった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・20年以上ボランティアの手が加わり続けたことで、林床が比較的明るく、単調な植生にならずに何とか多様性が維持されてきたと言える。(植物調査協力者)
- ・森を分かっている人が管理してきたと感じる森。自然林と人工林のバランスが良い。適地適木を考えて管理していくのが良い。(植物観察会講師)

### 参加者の声

- ・木の名前が表示されていたのが分かりやすく面白かった。間伐や枝打ちは難しいところもあるがとても楽しい作業だった。(30代女性)
- ・場所もスタッフもとても良い雰囲気だった。林業に関わるのはハードルを感じていたが、体験会を入口することで少しずつ慣れていけるように思える。(40代男性)



間伐体験



自然体験・キノコ植菌



植物観察会



作業道補修

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：0.5ha  
 除伐面積：0.16ha  
 間伐面積：1.0ha  
 森林資源活用：10本  
 作業道整備：155m  
 枝打ち：1.5ha  
 山小屋補修：8回  
 イベント・講習：5回  
 生物調査：14回

#### 参加者数

県内：169人  
 県外：159人  
 計：328人

## 湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業

神奈川県湯河原町



### 事業概要

湯河原町の協力を得て進める企業の森は、下流には町の浄水場があり重要な水源林である。そのため、水源林として下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりをめざすとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解深める体験活動を行う。

主な活動は、間伐、水源整備、自然観察会など。また、この事業は企業のCSR活動を行うために、企業の要望に沿う形で活動内容等を設定していくを目的としている。

### 事業成果

日本触媒の職員が参加する活動日を3回予定していたが、

うち2回は台風、1回はコロナ感染症拡大防止のため、すべて中止となった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・森の活動は継続性が大事だが、企業が行うCSR活動に至っては、活動がマンネリ化すると参加者が減る傾向にある。このあたりを踏まえて、企業との話し合いを密に行い、継続して参加者を確保できる活動にしていきたい。(神奈川森林インストラクターの会)



水源林で活動

## 南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業

神奈川県南足柄市



### 事業概要

神奈川県西部の南足柄市に位置し、周囲は神奈川県が進める水源協定林契約地と隣接している。活動は、水源林として下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりをめざすとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解深めるため、間伐などの森林づくり活動、自然観察会等の環境教育活動などを行う。また、この事業は企業のCSR活動を行うために、企業の要望に沿う形で活動内容等を設定していく。

### 事業成果

昨年度に設置したシイタケの原木からの収穫ができるなど森の恵みを楽しむことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・企業のCSR活動に沿った作業内容になるように企業との話し合いを密に行い、楽しい活動にしていきたい。(神奈川県森林インストラクターの会)

### 参加者の声

- ・昨年持ち帰ったカブトムシ幼虫が成虫となり、また卵を産んで幼虫になりうれしかった。
- ・シイタケ汁がおいしかった。
- ・とても気持ち良かった。



下刈



間伐材の運び出し

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：0.001ha  
除伐面積：0.3ha  
間伐面積：0.6ha

#### 参加者数

計：127人

## 栗原市行者の滝周辺「癒しの森」植樹活動

宮城県栗原市



### 事業概要

災害によって失われた行者の滝周辺の森林の再生と共に人々も集える癒しの森になるよう植樹活動を行う。

### 事業成果

行者の滝周辺を災害前のような森林に再生し、植生豊かな人々の集える癒しの森になるように整備作業を行った。

植樹場所は災害で一部地形が変わり湿地帯になっていたり、震災に発生した土壌置き場となっていたために大きな石が埋まっている場所もあるという植樹場所としては土壌整備が必要な場所である。湿地帯は重機を使い排水路を掘り、植樹の穴を掘るために大きな石を掘り起こす作業で重機がなければ作業は進まなかった。排水路は有効に作用し湿地が減少し、初めに植樹した苗は半数以上消滅したが今回植樹した苗は順調に生育していた。今年の植樹場所は大きな

石がたくさん出土し、重機を使い穴を掘り植樹場所を確保することとなった。また、昨年試みたスギのチップ利用は有効であったために、今回はチップ工場からスギのチップを大量に購入し、植樹や苗の生育場所に苗の目印や歩道などに有効に活用できた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・毎年少しずつ成果が見えることは大変うれしいことで、微力ながらこれからも参加を続けていきたい。(毎年参加する企業の社員)

### 参加者の声

- ・穴を掘り苗を植えることは楽しかった。また参加したい。(小学3年生)



排水路づくり



植樹地



ミズナラ、ブナほかを植樹



下刈

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.1ha  
植付本数：300本  
下刈面積：0.8ha

##### 参加者数

県内：131人  
県外：2人  
計：133人

##### 樹種

ミズナラ、ハウチワカエデ、ブナ

## 富士山緑の募金の森造成事業

静岡県富士宮市



### 事業概要

平成8年9月の台風7号は、富士山南東斜面に風倒木など甚大な被害を与え、本箇所は、その復旧を目的に開始された事業であり、国土緑化推進機構が行う「国土緑化運動50周年記念事業」として、国土緑化推進機構が提唱する「国民参加の森林づくり活動」の場として多くの森林ボランティア団体に呼びかけ、今日まで実行委員会方式で実施している事業である。

### 事業成果

今年度は、植生調査等を継続するとともに、定期的に防鹿柵の巡視等を実施した。なお、森林管理署、地元猟友会

と連携してシカの捕獲を実施した。

また、企業参加による森林体験活動としてヒノキの保育間伐を初めて実施した。さらに、募金の森造成事業開始から今年で20周年を迎えることを記念し記念植樹をした。

### 事業をよく知る関係者の声

・植栽開始から20年が経過し、ヒノキ林・広葉樹林ともに順調に生育している。一方、シカによる森林被害が一部で見られることから、引き続き、シカ被害対策に取り組みながら、森林づくりを推進することが必要である。

### 参加者の声

・間伐作業（伐倒）は初めての経験で、勉強になった。



間伐



ロープで引っ張り安全に倒す



伐採木の枝を払う



ブナ、ミズナラ、ヒメシャラを記念植樹

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付本数：3本  
歩道整備：200m  
保育間伐作業：1.92ha

##### 参加者数

県内：76人  
県外：120人  
計：196人

##### 樹種

ブナ、ミズナラ、ヒメシャラ

## 緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」

大阪府泉佐野市



### 事業概要

稲倉池を囲む約30haの里山林は、かつて薪炭、飼料や肥料の採取地として、住民と密接に関わってきたが、近年は放置林となってきた。このため、本来の里山の姿に戻すとともに、森林ボランティア活動教育など人材育成を目的とする活動を開始した。

その後、近畿でも「ナラ枯れ」被害拡大を受け、数年前より冬季にはコナラ大径木の間伐を行い、夏季は密集灌木の除伐・間伐や下刈りに移行し、里山としての姿に戻すべく活動している。

### 事業成果

当活動地内に「ナラ枯れ」が初めて発生したため枯死木は焼却（市焼却場）し、隣接区域の未感染コナラを間伐・再資

源化（薪・ほだ木）した。また、木くずとフンが排出される「フラス発生木」へは粘着シート巻き付けで羽化による被害拡大防止が図られた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・20年以上にわたり里山整備の取り組みをしていただき、ありがとうございます。暴風時に倒れた木や、樹木に発生する病害虫被害等の異変に気づき、迅速に対処していただいているおかげで、農業用水や飲料水として安心・安全に「稲倉池の水」を利用できています。（泉佐野市生活産業部農林水産課職員）

### 参加者の声

- ・里山保全活動に参加して、自然を身近に感じた。また、環境について考えさせられた。



コナラ間伐



ナラ枯れの木に粘着シート巻き付ける



ナラ枯死木の伐倒



安全講習

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈面積：0.44ha  
 間伐面積：0.13ha  
 道補修：40m  
 階段補修：40m

##### 参加者数

府内：209人  
 計：209人

## 木下沢渓谷冒険の森保全活動と環境教育

東京都八王子市裏高尾町



## 事業概要

木下沢下流域の森林を対象に、市民の憩いの場、レクリエーションの場、多くの生物が生息する場として活用できる森林にしていくことを目的として、次のような活動を行っている。①歩道・遊歩道、ふれあい広場等の整備、②間伐、風倒木の処理・植樹等の森林整備、③裏高尾・木下沢渓谷連絡会議と連携した情報の共有、④森林ボランティア活動、自然とのふれあい行事の企画・提供、⑤生物多様性に即した環境づくりなど。

## 事業成果

新しい広場づくりを行った。あわせて新しい拠点・整備エリアができたことから、周辺生物調査も行い、認知向上に向けたガイドブックの作成も行った。こうした活動によって定期的に参加するメンバーのコミュニケーションは活性化した。また、イベント実施における指導者や協力スタッフの担当制が機能するようになり、初回参加者や親子の

満足度の高いプログラムが実施できるようになった。コロナウイルス感染拡大に伴い、数か月一般向け活動ができなくなっていたが、主たるメンバーを中心に感染を防止しながらプログラムができる体制づくりを早い段階から行い、6月には人数制限をかけた上で親子体験を実施した。対策をした上でプログラムを展開できたことは大きな成果と考えている。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・ 渓谷の周辺を整備しながらそれを活かした川遊びのような普及啓発を行ってはどうか。(研究者)

## 参加者の声

- ・ 小さい頃から木の実や植物が大好きな娘なので、今回は種を飛ばしたり葉っぱで笛をつくったり草花遊びがとても印象に残っているようだった。(40代保護者)
- ・ 一人でノコギリで木を倒したことが楽しかった。(小学生)



親子体験会・伐採



親子体験会・自然観察



沢歩き



夜間観察会

## 実績とりまとめ

## 作業内容

下刈面積：0.2ha  
 除伐面積：0.9ha  
 間伐面積：0.25ha  
 作業道整備：400m  
 生物調査：5回  
 イベント：11回

## 参加者数

都内：262人  
 都外：35人  
 計：297人



## 玖珠町ふれあいの森づくり事業

大分県玖珠町



### 事業概要

企業ボランティア、地元緑の少年団の参加により自然がもたらす豊かさを体験し自然の大切さを学びながら自然環境の素晴らしさを学ぶ。森林のもつ多面的機能をいかし災害に強い森林づくりを目的とし、自然がもたらす豊かさを体験し水源林の整備を行い豊かな森林づくりを形成する。

①歩道の整備（階段作り）、②広葉樹植栽、③植栽地の下刈、④花壇の設置、⑤木工教室、⑥シイタケの駒打ち・伏せ込み作業、⑦シカ害防止ネット設置。

### 事業成果

3回の事業を計画していたが、悪天候、新型コロナウイルス感染予防のため1回の実施となった。新規フィールドのため、色々な作業を計画していたがシカネット設置作業のみとなった。植栽予定地を囲んだ事により動物の被害を防止する事ができ安心して次回開催の植栽ができると思う。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・今回は初の作業となるシカネットの設置作業を行った。一人ひとりができることは微力だが、こういった活動の積み重ねがこの広大な自然を守っているのだと感じた。森林保全活動という日常で経験ができることの少ない貴重な機会をいただき、大変良い経験となった。

### 参加者の声

- ・日常生活や自然の中で土に触れて作業をすることはあまりないので、貴重な体験をさせていただき、良いリフレッシュとなった。
- ・自分で作った遊歩道が完成していくことや駒打ちしたシイタケの成長が楽しみなので、今後も積極的に活動したいと思う。次回は大分を離れていた同期にも声をかけた。



シカ害防止ネットを設置



植樹地



シイタケほだ場

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.05ha  
植付本数：300本  
シカネット設置：500m  
花壇整備：4箇所

#### 参加者数

県内：133人  
県外：18人  
計：151人

#### 樹種

ツツジ、シャクナゲ

## 「大阪府ENEOS友好の森」森林整備事業

大阪府太子町



### 事業概要

手入れが行き届かず荒廃が進みつつある私有林（スギ・ヒノキ）をノコギリを用いて除間伐をした。その際、専門家の指導を受け道具の扱い方を覚えてもらった。子どもたちは木工で木材の良さを体験してもらった。

する方に分かれていただいた。間伐作業は、ゆったりと山の雰囲気を楽しみたい方にとっては少々ハードだったが、おおむね楽しく安全に行っていただけた。木工教室では、木工体験キットを用いて動物型貯金箱の作成をした。皆さん趣向をこらして取り組んでいただき、良い体験になったと思う。（行政担当者）

### 事業成果

森林整備を行う事で自然に対する意識が向上した。木工で木に触れてもらい、木材の良さを体験してもらうことができた。

### 参加者の声

- ・自然を感じながら木工体験ができて良かった。他のものも作れるとより良いと思う。
- ・ゆったりコースなど、分けがあるのは良いが、思っていたより体力的につらかった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・山に入って間伐作業をする方々と広場で木工教室に参加



手ノコを使って間伐



安全に留意



ロープを引いて木を倒す



木工

#### 実績とりまとめ表

##### 作業内容

除伐面積：0.7ha

間伐面積：0.7ha

##### 参加者数

府内：60人

計：60人

## みんなのSDGsのMORIと社会づくり事業

宮城県利府町



## 事業概要

協力企業や地域ボランティア、小中学校などが協働し、人々が集まりやすい場所にある荒廃した森林の整備し、未来へみどりを引き継ぐための植樹活動や、子ども達が気軽に森づくりや自然体験を楽しめるフィールドづくりを行う。除伐・枝打ち・遊歩道づくりなどの活動は、森林ボランティアが協力して進めるとともに、子ども達の体験としても実施し、「森での学び」の機会を数多く創出するとともに、森林での整備や遊びなどの実体験を通して、健全な森と人を育むことをめざす。

内容としては広葉樹や針葉樹の植林活動や地域森林ボランティアの育成、遊歩道材等への間伐材有効活用、子どもを対象とした環境教育・減災教育活動、ナラ枯れ被害の調査とその処理といった活動を実施した。

## 事業成果

県外の中学校や協働企業ボランティアの他に、県内親子

を対象としたイベントを実施し、森づくり活動への参加者の幅を広げることができた。また整備する上で間伐・除伐した木の活用法についてもモニュメントだけではなく、丸太ベンチやキノコの植菌など新たな活用方法を考え実施することができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・自然の中での活動は貴重なので、感染対策もしながらこれからも積極的に活動していくべきだ。(ボランティア)
- ・植樹や遊歩道整備などと合わせて、台風による被害が出た場合には社員や協会の方々と協力しになるように整備を続けていきたい。(協力企業担当者)

## 参加者の声

- ・枯れた木を伐るのは大変だったが、伐った木が倒れた時は気持ちよかった。(中学生男子)
- ・自分が数年前に植えた木に実が生っていて、ここまで育ったことが嬉しかった。(協力企業社員)



植樹地の下刈



中学生による遊歩道整備



地域ボランティアによる植樹



間伐

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積：1ha  
 植付本数：251本  
 下刈面積：5ha  
 除伐面積：4.3ha  
 間伐面積：4.1ha  
 クラフト体験：3回  
 歩道整備：140m

## 参加者数

県内：691人  
 県外：80人  
 計：771人

## 樹種

ヒノキ、サクラ、ヒメリンゴ、ハナモモ、ミズキほか

## 「赤西溪谷・水源の森」保全事業

兵庫県宍粟市波賀町



### 事業概要

企業および森林管理署と協働して森林整備や教育研修などを行うことにより、環境林、水源かん養林を保全するとともに、あわせて自然保護、生物多様性について理解を深めることを目的とする。

予定された企業の従業員などによる4回の森林整備活動や一般市民を対象とした「赤西溪谷エコツアー」は、悪天候や新型コロナウイルスの感染防止などのために全て中止となったが、NPO会員主体で以下の作業を実施した。①平成30年に活動10周年を記念して植樹したヤマザクラ3本がその後枯死したため、6月10日にNPO会員などで植え替えた。②例年8月に企業の従業員などにより実施していた植樹地の下刈りはできなかったが、8月6日に企業の担当者とNPO会員とで作業を実施した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・本年度は社員参加型の森林活動はできなかった。その中、活動について弊社関係者で議論することで、森づくりの目的や意義を再整理することができた。自然を学びながら社員間コミュニケーションにも役立つものが望まれているため、来年以降の活動に結び付けていきたい。(企業の活動企画担当)

### 参加者の声

- ・森づくり活動の10周年記念で一昨年10月に植樹した国天然記念物「樽見の大桜」の子木が、残念ながら活着しなかったため、6月に樹木医の指導で植え替えた。植樹のために掘った穴からは、大きな石が出てきて大変だったが、無事に新芽を吹いて元気に育ち、赤西溪谷・水源の森に花を添えてくれることを夢見ている。(70代会員)



ヤマザクラ植替え



下刈



下刈作業後



食害対策防護ネットの補修

#### 実績とりまとめ表

##### 作業内容

植付本数：3本  
下刈面積：0.2ha

##### 参加者数

県内：16人  
県外：2人  
計：18人

##### 樹種

ヤマザクラ

## 企業との協働による「高粱美しい森」森林整備事業

岡山県高粱市



### 事業概要

高粱市の定める市有林の一部「高粱美しい森」内において、ENEOS社、高粱市、本会と協働による、森づくり・森林体験活動を通じたSDGsの実践に取り組む。自然災害の増加や自然環境・生物多様性の保全という問題に対しても、流域思考に基づき複合的に取り組むことで、持続可能な自然共生型地域社会の構築に寄与することを目的としている。8期目となる今期は①下刈、雑木林整備（間伐含）、マツ林整備、憩いの場の整備等）を行うとともに、自然体験学習を実施し、自然に親しみ自然を育む心の醸成に通ずる活動を行ったが、コロナの影響により当初計画の半分の実施となった。

### 事業成果

今期は1回のみで開催となったが、参加者数は233人（前々回は220人）と高いレベルで安定してきている。これ

は、ENEOS社内において環境保全や自然体験活動の大切さ、必要正等の理解と実践が確実に定着してきたことを意味している。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・大人だけではなく、毎回多くの子どもたちが森づくりや自然体験を楽しんでいることがすばらしい。幼少期の自然体験は特定の目的を持って活動するよりも、体験そのものを目的として、そこから自由に子どもたち自身で学んでいくことに大切さがあり、正にその場として有意義なものである。（小学校教員）

### 参加者の声

- ・うっそうと茂った遊歩道周辺の整備をすることで、整備後の達成感と安心感を感じられるようになった。森づくりは癒しと活力の活動である。（50代男性）



下刈



間伐



遊歩道脇にベンチを



間伐材で薪づくり

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈面積：0.62ha  
 間伐面積：0.99ha  
 遊歩道整備：20m  
 自然体験活動：1回

##### 参加者数

県内：223人  
 計：223人

## 和木町協働の森づくり事業

山口県和木町



### 事業概要

「豊かで美しい森林づくり」と「地球環境の保全」を目的として、和木町里山研究会が主体となって地元企業のENEOS株式会社麻里布製油所の社員や家族、OB及び和木町、山口県の職員ボランティアと協働で和木町有林約7haの整備を平成23年12月から継続している。

### 事業成果

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初の計画通りには事業が進まなかった。10月頃に予定していたENEOSの森事業は、ENEOS社員の参加が見込まれなくなったため、和木町里山研究会会員が草刈り等の作業を行った。クリ拾いについても里山研究会会員のみで作業した。作業後は企業にクリ20kgを提供して、今年の山の恵

みを感じていただけるようにした。

### 事業をよく知る関係者の声

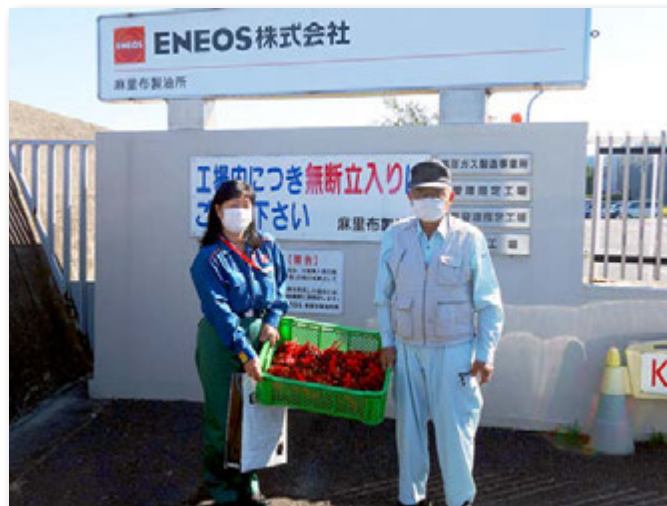
- ・地元企業社員、ボランティア団体、県・町職員が協働で森林整備を行うことにより、森林の持つ多様な機能や恵みを実感することのできる素晴らしい事業である。新型コロナウイルスが収束した後は、以前のように協働して豊かで美しい森を残していくことができればと思う。(町職員)

### 参加者の声

- ・今年もクリがたくさん収穫できたので、ENEOS社員の方々に味わっていただきました。(80代男性)
- ・来年はいっしょに作業できたらいいね。(80代男性)



クリ園の整備



収穫したクリ

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

クリ拾い：12日

##### 参加者数

県内：85人

計：85人

## 木曾川・八百津水源の森づくり活動

岐阜県八百津町



### 事業概要

木曾川流域に生活する住民に潤いと安らぎを与える源の森を整備し、水源涵養機能の充実を図るとともに森林生態系や生物多様性について学ぶことを目的として実施。海拔500mの高原を会場とし、下流域にて生産活動を行うキリンビール(株)名古屋工場の従業員と家族や流域に生活する地域住民及び地元住民が協力し合い、サクラの間伐、地域内の遊歩道の補修作業、下刈などの活動を行うとともに間伐材を利用した箸づくり体験などを行った。

### 事業成果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティア参加の整備事業は中止したが、業務委託による下刈や樹木伐倒活動など水源の森の保全や整備に努めた。11月には、サクラの勉強会を昨年に引き続き実施、参加者に知識・技術を身につけてもらった。

### 参加者の声

- ・サクラの勉強会に昨年に引き続き参加した。剪定等のコツや植栽のポイントなどが聞けて良かった。(50代男性)



サクラの勉強会



サクラの勉強会



下刈作業前



下刈作業後

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：4.45ha  
 除伐面積：0.05ha  
 イベント：1回

## 岡山水源の森整備事業

岡山県美咲町



### 事業概要

松くい虫の被害により、穴のあいた場所に広葉樹の植栽、残された広葉樹の中から、有用広葉樹を守るための除伐・つる切り・管理道の整備を、企業及び市民ボランティアの参加を得て、保水機能を高めるとともに生物多様性の森林づくりを行う。

### 事業成果

管理保全業務を実施した。  
植栽木の成長は良好。今後も区域や作業道の管理が必要。



作業道の草刈



作業後



林内の刈払



刈払後

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

刈払面積：0.47ha

作業道刈払：800m



## 3.11 復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業

千葉県山武市



### 事業概要

津波により枯れてしまった千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林の復興を進めて、被災地住民の生活環境の回復を図るとともに、それを通じて「海岸防災林と住民との共生」を創り直すこと、ボランティア活動の継続性の向上である。主な活動は次のとおり。①津波により塩害を受けて枯れた木々の撤去とチップ化処理と敷き詰め及び転圧、②海岸林に適した樹種(抵抗性クロマツ)の植林。なお、この事業は(一社)日本野球機構からの募金の支援で実施した。

### 事業成果

令和元年の台風15号、19号による被害を大きく受けた千葉県。自然災害を最小限に抑えるためには、森林のもつ土砂災害防止機能を市民一人一人が理解し、森林保全への関わりを高めていく必要がある。県内のボランティア参加

者を募集し、多くの県民が参加してくれた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・自然災害が目立つこの頃、自然環境のために貢献したいと思う人が増えていると思う。そんななか、ボランティアのハードルを下げて、森づくり初心者も参加できる活動を応援していきたい。(樹木医)

### 参加者の声

- ・森林の大切さを感じるようになってきた。海岸林の再生に参加できる喜びを感じながら植林に参加した。(50代男性)
- ・小さい苗木が、毎年毎年大きく育っていく様子を目の当たりにすると、自然のもつ生命力を感じる。夏の草刈りも参加したい。(30代女性)



ボランティア参加者による植樹



ていねいに植樹



2500本の抵抗性クロマツを植樹



海岸林の再生をめざして

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.25ha  
植付本数：2500本  
皆伐、地拵え：0.25ha

##### 参加者数

県内：60人  
計：60人

##### 樹種

抵抗性クロマツ

# 松川浦海岸防災林 (相馬市大洲国有林) の再生に向けた活動

福島県相馬市



## 事業概要

東日本大震災により被災した海岸防災林を再生する。主な活動は以下のとおり。①盛土された海岸防災林の区画にクロマツの植樹、②植樹したクロマツの健全な成長を実現するために下刈・除草等を行う。

## 事業成果

平成28年・29年に植樹した区画の下刈を行ったことにあわせ、傾いたクロマツ苗木を直して補強した。来年以降の順調な成長を期待したい。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・植栽地の除草の2週間ほど前に現地を襲った台風19号に

より傾いた植栽木の立て直し等について適切に作業をした。参加者は小学生から成人まで幅広く、作業を通して森林の育成、東日本大震災からの復興に携わっていただいたことは大きな意義があると思う。今後、クロマツがある程度生長するまで、保育作業や管理を継続していただきたい。(磐城森林管理署指導官)

## 参加者の声

- ・根が張った下草もありマツも大変だ、白砂と緑の松川浦海岸が戻るのが楽しみ。
- ・台風で活動中止を心配したが、これまで同様に幾多の困難を乗り越えて実行でき、うれしかった。



下刈



下刈



傾いたマツをまっすぐに



海岸防災林の再生をめざして

### 実績とりまとめ

**作業内容**  
下刈面積：0.29ha

**参加者数**  
県内：6人  
県外：26人  
計：32人

## 「大曲浜潮除須賀松の森」植樹事業

宮城県東松島市



### 事業概要

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた東松島市沿岸域の海岸防災林について、その再生に向けて中国訪日団高校生・大学生らとの協働により植樹活動を行いながら、失った「みどり」の重要性やその働き等への理解と関心を深めてもらい、海岸防災林再生に対する気運の醸成と、「みどりの文化」の普及啓発を図る。

### 事業成果

これまでの活動が、マスコミやHPなどを通して周知され、活動に参加を希望する問合せや相談が寄せられたほか、民間企業からは、海岸防災林再生に向けた活動を支援するための寄付金の申し入れがあった。参加の団体、個人、企業は、単なる森づくりではなく、海岸防災林のこれまでの歴史やその役割などを認識し、その重要性を学んでいた。特に子どもたちが主体となった活動では、環境・防

災教育の一環としても位置づけ多くのことを学んだ。また、日中友好の絆を深めることができたほか、東日本大震災による被害の甚大さ、震災からの復興、日本の海岸防災林の意義などを訪日団高校生・大学生に伝えることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・作業するなかで徐々にコツを覚え一生懸命に活動していた。マツ苗が育つよう願いを込めて植えようとする姿勢が見られた。復興につながる活動に感銘し、すばらしい植樹活動だった。(訪日団カウンターパート)

### 参加者の声

- ・私たちが植えた苗が大木に成長し、丈夫な防災林になってほしい。(大学生)
- ・自分の手で苗木を植えたことで、森林が防災減災に多くの効果があることがわかった。(高校生)



日中植林・植樹国際連帯事業中国高校生友好交流訪日団(第2陣)



日中植林・植樹国際連帯事業中国高校生友好交流訪日団(第2陣)



日中植林・植樹国際連帯事業中国大学生友好交流訪日団(第3陣)



日中植林・植樹国際連帯事業中国高校生友好交流訪日団(第3陣)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.37ha  
植付本数：1860本

#### 参加者数

中国：155人  
計：155人

#### 樹種

抵抗性クロマツ

## 旭復興事業 2019

千葉県旭市



## 事業概要

東日本大震災の被害を受けた旭市において、津波や松くい虫等の被害により枯損し、無立木地化した海岸保安林（市有保安林）の再生を図り、飛砂や潮風の被害を防止し津波被害を軽減するなど、本来の保安林の発揮すべき防災機能を早急に回復するために、植樹による森林の造成を行った。植樹に当たっては、森林や緑づくりの大切さについての普及啓発を図るため、地元子ども会による植樹会を開催した。

## 事業成果

震災から9年が経過し、当時の記憶が薄れつつある中、クロマツに代表される海岸保安林の植樹を行うことにより、地域住民に改めて海岸保安林の重要性を思い起こしてもらうことができた。

また、子どもだけでなく家族いっしょに参加することにより、緑の大切さや海岸保安林の防災機能などについて、

「楽しく」学び、植樹体験を大切な記憶として刻むことができた。市では、将来を担う世代への防災教育の一環と考えている。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・毎年植樹会が開催され、保安林が再生されつつあると実感している。しかし、まだ枯れてしまった場所が見られるため、今後も事業を継続してほしい。（近隣住民）

## 参加者の声

- ・木を植えるのが楽しかった。将来、植えた木が育つのが楽しみ。（小学生）
- ・大きく育てて津波から守ってくれる森になればいいなと思う。（30代女性）
- ・卒業生をはじめ私達にとって、良い思い出になったので、来年もぜひやりたい。（子ども会代表）



トベラ、マサキ、クロマツを植樹



392本をていねいに植樹



緑の大切さを学んだ



海岸保安林の再生をめざして

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.05ha

植付本数：392本

#### 参加者数

県内：20人

計：20人

#### 樹種

トベラ、マサキ、抵抗性クロマツ

## 震災復興植樹祭 IN さんむ

千葉県山武市



### 事業概要

クロマツの植樹を通して東日本大震災で津波被害を受けた山武市の中下海岸の海岸保安林の復興と青少年の健全育成や環境教育の推進を図る。

事業は、山武市青少年育成市民会議に属する市内団体・PTAが連携し、公募により県内外を含めた多くの参加者を得て植樹する予定であったが、新型コロナウイルスの感染症の拡大のため、公募参加者による植樹は中止した。このため、市民会議や構成団体からのボランティアにより海岸林保安林の復活に取り組んだ。

### 事業成果

急遽、山武市青少年育成市民会議や構成団体のボランティアで植える事となったが、団体から46人の参加者があり、団体間の連携の深まりを感じた。また、参加申込者の中に

は市内外の企業からの申し込み、高校生の団体、ライフセーバーといった組織・団体での申し込みがあり、復興や環境への意識の高まりを感じた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・整地を丁寧に行っている事、また、コンテナ苗に変更したことなどにより、数年前と比べて、植樹がしやすくなっている。気軽に参加できる植樹祭として参加者の増加が見込めるのではないかと。(山武市青少年育成市民会議委員)

### 参加者の声

- ・植樹をやってみて楽しかった。(40代女性)
- ・この人数でここまで早く終わるとは思わなかった。とてもやりやすかった。(40代男性)



クロマツ 1400本を植樹



クロマツのポット苗



植樹のための穴あけ



海岸保安林の再生をめざして

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.26ha  
植付本数：1400本  
植栽基盤整備：0.1ha

##### 参加者数

県内：65人  
計：65人

##### 樹種

クロマツ

## 白子町海岸保安林整備事業

千葉県白子町



### 事業概要

東日本大震災に伴う津波や松くい虫の被害により無立木地化した白子町の海岸部に広がる保安林において、緑化を推進し防災機能の強化を図ることにより、風・砂等に対する遮へい能力を高め生活環境の保全形成を図ることを目的として、抵抗性クロマツを植樹した。

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、みどりの少年団の参加ができなくなったが、地元白子町温泉ホテル協同組合ほかのボランティアの協力を得て実施した。

### 事業成果

新たな場所に植樹を行い、次代の保安林を増やすことができた。新型コロナウイルス感染症の影響でみどりの少年団の参加ができなかったが、地域ボランティアの協力を得て植樹を実施することができた。少人数となったが、改め

て、海岸保安林や緑の募金について普及啓発することができ、また、コンテナ苗を活用して大変効率的に植樹を行うことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・みどりの少年団が参加できなかったのは残念だったが、ボランティアの協力により実施することができてよかった。植樹場所の土も柔らかく、穴も前年度よりさらに空けやすかった。少人数だったが、参加者が真剣に取り組んだことで短時間で植えることができた。(町職員)

### 参加者の声

- ・子どものころに見たマツ林を取り戻すのに少しでも力になれてよかった。(ホテル関係者)
- ・コンテナ苗を初めて知ったが、植えやすくて扱いやすかった。(ホテル関係者)



クロマツ 1000本を植樹



植樹のための穴あけ



クロマツのポット苗



海岸保安林の再生をめざして

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.1ha  
植付本数：1000本  
植栽基盤整備：0.1ha

#### 参加者数

県内：29人  
計：29人

#### 樹種

クロマツ

## 「荒浜潮除須賀松の森」植樹事業

宮城県仙台市、岩沼市、東松島市



### 事業概要

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた仙台市沿岸域の海岸防災林について、その再生に向けて地域住民等との協働により植樹活動を行いながら、失った「みどり」の重要性やその働き等への理解と関心を深めてもらい、海岸防災林再生に対する気運の醸成と、「みどりの文化」の普及啓発を図る。

### 事業成果

活動に対するマスコミの関心が高く、記事にも掲載されて反響が大きかった。特に次代を担う子どもたちが参加した活動に関心が寄せられた。コロナ禍での活動は様々な制約があったが、感染対策を講じて実行できたことは大きな成果であった。参加者は海岸防災林のこれまでの歴史やその役割などを認識し、その重要性を学んだほか、特に次代を担う子どもたちが主体となった活動では、環境・防災教育の一環としても位置づけ多くのことを学んだ。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・コロナ禍で全く野外活動ができなかった状況下で、こうした植樹活動の場を提供いただき、子どもたちにとっては貴重な体験となった。久しぶりの開放感と、海岸防災林の歴史やその意義なども理解できたことは、今後の彼らの人生にとっても大いに役立った活動だった。(ボーイスカウトグループ隊長)

### 参加者の声

- ・我々は、わずかな力でしかないが、地球温暖化防止や被災地の復興に少しでもお役に立てたことは大きな喜びである。地道ながら活動を続けて成林に向けて貢献していきたい。(30代男性団体職員)
- ・子どもといっしょに植樹活動に参加できて大変良かった。スタッフの皆さんがわかりやすく説明してくれたので、海岸防災林の役割などがわかり、苗木を丁寧に植えるように心がけた。(30代女性)



抵抗性クロマツの植樹 (ボーイスカウト)



親子で植樹



344人が参加



記念標の除幕式

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植栽面積：1.15ha  
植栽本数：4371本

#### 参加者数

県内：338人  
県外：6人  
計：344人

#### 樹種

抵抗性クロマツ、ハンノキ

## ラグビーワールドカップ2019後のコミュニティ再生を目指す大槌湾海岸防災林植樹事業

岩手県釜石市



## 事業概要

海岸防災林の再生には、世代を引き継ぐ息の長い活動が不可欠であり、地域住民とNPOおよび地元自治体の連携のもと、若い世代(中学校)の活動への参加が生まれた。ラグビーワールドカップ2019招致に地域を挙げて取り組んだ根浜地区の海岸防災林の景観を創造し、植樹と植栽を軸として、大槌湾に面したエリアの海岸防災林の植樹を広げること、震災後失いかけた地域コミュニティの再生をめざした。海岸林の再生と浜から海岸林までの景観を創り上げるための清掃活動、海浜植物の種まき、植替え活動を行った。

## 事業成果

中学校全校での取り組みとして定着し、地元TV局や新聞社の取材が入るなどした。中学生たちは生き生きと活動し、インタビューにも明快に答えていた。震災以降、海に近づくことができず、心のケアにも配慮することで、生徒たち

が楽しんで活動することができた。地元の自治会や行政、企業などが共に汗を流すことで、世代を引き継ぐ活動として少しずつ成果を上げている。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・春にケカモノハシ(イネ科)の鉢あげを行うなど200以上の苗を作成することができ、それらを秋に植栽することができた。また、津波によってマツが少なくなっているところに、マツ苗の植栽を行い活着率も高かった。これらの活動を通して、根浜海岸のマツ林の景観向上に貢献できた。(大学研究者)

## 参加者の声

- ・4~5年育ったクロマツを元の砂浜に植え替えてほっとした。
- ・自分たちが大人になった時、ここで草取りをしたり植え替えをしたことを思い出そうと思う。



ポット苗からの移植



雑草運び



補植したクロマツ



マツ周辺の草刈り

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：2.1ha  
植付本数：30本  
下刈面積：1.4ha  
海浜植物種まき：2回  
海浜植物移植：2回

#### 参加者数

県内：285人  
計：285人

#### 樹種

クロマツ



# 札幌市澄川都市環境林に於ける放置された広葉樹林の復興事業

札幌市南区



## 事業概要

元気な森に復元することを目的としている。整理伐の目的は①生長の見込めない木に限定し最小限の施業に留め郷土樹種の成長を促す(切り払った幹・枝条は肥料木に)。②作業を効率化するため作業道、軽自動車用道路、木道の整備。③多様性を持った持続可能な豊かな森への誘導。子どもたちが自然に触れる事のできる安心で安全な森を提供していく。

## 事業成果

間伐で生じた材は肥料木として土に還し、自然に近い状態を残しながら豊かな従来の里山に戻る事を期待している。しかし3月からコロナウイルス感染拡大で作業は計画通りには進まなかった。初めての試みとして、手ノコ班とチェーンソー班を日毎に分けて整理伐を実施し結果、参加者からの感想は安全な作業に結び付きヒヤリハットを避ける事で

安全対策に繋がった。作業道の開削工事や軽トラック用の木道補修で作業の効率化・安全性は向上した。

## 事業をよく知る関係者の声

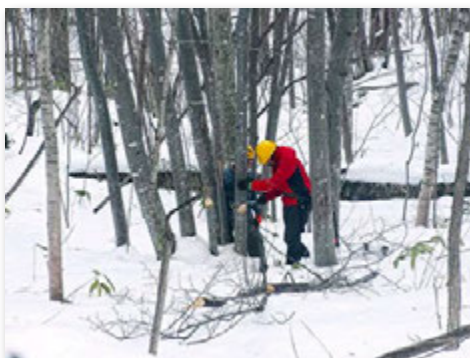
- ・来るたびに散策路や周りの環境が整備されている。また、コクワやクリなど味覚を味わえて最高だった。(親子森林教室の関係者)
- ・間伐後に放置する幹や枝条は立木から少し離して小さく山積みして分散する事で害虫被害の発生を減らせるとのアドバイスを受けた。(近自然森づくり協会理事長)

## 参加者の声

- ・長い事放置されていた地区の整備は倒木、傾斜木、ツル覆われた枯損木などが広がり、その上、尾根と谷に阻まれ作業道の整備に苦労した。手を加えるごとに風景の変化に喜びを感じた。



安全講習会



手ノコで整理伐



木道補修箇所の点検



卒業記念植樹(澄川南小学校)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：2本  
 下刈面積：1.8ha  
 間伐面積：3.8ha

#### 参加者数

道内：744人  
 計：744人

#### 樹種

エゾヤマザクラ、ナナカマド

# 次世代につなぐ国産漆植樹事業

盛岡市藪川



## 事業概要

重要文化財の維持管理に必要な国産漆の量は22t。平成27年度の国産漆の生産量は約12tで自給率は2%しかない。国産漆の自給率の向上への貢献が目的。そのため樹液を採取する原料木のウルシノキの生分解性ポット一年生苗の植樹を行った。

## 事業成果

植樹は個人の参加者の他に企業や岩手大学などの参加を得られた。一列に植樹する方法や、土の穴のあけ方、苗の埋め方などポッド苗に適した方法を体験学習できた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・カブレの恐れのあるウルシを扱う作業にもかかわらず、事前に作業の注意点を説明し、結果ウルシかぶれ発症者が出なかったのは大変に良かった。(育苗業者)
- ・ウルシ植樹を千本単位で行う取り組みは国内ウルシ振興でもスケールの大きいものであり、今後も実績を積み上げていってほしい。(マスコミ関係者)

## 参加者の声

- ・植樹した苗が成長するのが楽しみ。また関連作業があるときには手伝いたい。(50代主婦)
- ・作業の楽しさに加え、周辺の景観、山菜採取、動物の気配など感じられるのが良い。(40代会社員)



植樹地の整備



植樹



植樹



ウルシ苗

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.8ha  
植付本数：1000本

#### 参加者数

県内：34人  
県外：6人  
計：40人

#### 樹種

ウルシ

## 間伐材の資源化プロジェクト

盛岡市手代森



### 事業概要

間伐材の活用でボランティアによる持続可能な森林整備の実現をめざす。間伐材資源化と活用法の啓発として、地域の伝統的な製炭法を実践するとともに多面的な木質資源の利用を習得し研鑽する研修会や体験会を行う。

### 事業成果

間伐材40m<sup>3</sup>を資源化して活用した。地球温暖化防止のCO<sub>2</sub>削減 47トン。

地域伝統の南部炭窯で製炭法を研修して間伐材から660kgの黒炭に資源化した。

簡易製材機の研修会と木工教室を開催。間伐材からほだ木をつくり植菌による栽培技術を研修した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・伐採した資源の活用をボランティアで行うのは貴重な。継続して参加できる案内を希望する。(60代男性)
- ・多くの会員に支えられている活動は継続することが大事だと思う。(20代女性)

### 参加者の声

- ・簡易製材機の研修は有意義だった。活動日以外でも積極的に利用したい。(60代男性)
- ・炭焼きの体験は貴重だった。今後は自主的な炭焼き活動を考えたい。(70代男性)
- ・間伐材の薪づくりは機材の利用が効率的だった。(50代女性)



薪づくり



炭焼き



きのこ栽培



製材研修

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

作業内容  
 炭焼き研修：7回  
 木工体験：10回  
 機材研修：2回  
 キノコ栽培：2回  
 集材・搬出：1回

#### 参加者数

県内：222人  
 計：222人

# 山林と暮らしを結ぶ「新割りランド」事業

岩手県花巻市



## 事業概要

長年放置され、ナラ枯れ病の脅威にさらされている里山広葉樹林を伐採・再生し、伐採した材を地域の薪ユーザーの参加により利用する。森と暮らしの結びつきを取り戻すための里山保全活動を行う。主な活動は以下のとおり。①広葉樹伐採技術講習会、②チェーンソー目立て研修、③里山広葉樹を皆伐せずに伐採・更新、④林地かく乱を最小限のに抑えるための馬搬研修会、⑤地域の薪ユーザー参加による薪材収穫体験イベント、⑥広葉樹の萌芽や実生による確実な更新。

## 事業成果

市有林の有効活用により、市の里山保全活動に対する理解が深まり、今後の活動の継続が可能となった。

新会員となった20代の男性が、共に作業を行ううちに林

業に関心を持ち、将来林業の現場技術者として就業を希望するようになり、県が所管する「いわて林業アカデミー」を受験することにつながった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・SNSなどを活用して、薪を必要としている地元の人に周知した方が良い。(協力企業)
- ・今後は習熟度合により、作業を選んでもらうなど安全対策により配慮した現場での組分け等を考える必要がある。

## 参加者の声

- ・丸太を道路まで運び出す苦勞がよくわかった。
- ・薪の収穫体験(「薪ハーベスト」)の機会を増やしてもらいたい。
- ・軽トラックでは運びきれないので、丸太等を配達してもらいたい。(遠方からの参加者)



伐木・造材



薪材の運び出し



目立て研修会



馬搬研修

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

伐木・造材：1ha 5回  
薪ハーベスト体験：2回

#### 参加者数

県内：121人  
県外：2人  
計：123人

## 森林の整備(地震で崩落した山林の再生事業)

宮城県栗原市



### 事業概要

東日本大震災があった平成23年、被災した三陸の被災団体4団体と地元栗原市の親子によって復興を祈願し700本の広葉樹を植樹した。以来、毎年育樹や補植活動をしている。植樹累計本数は1200本。本年度は2haの育樹、とりわけ平成30年に200本の補植を行った場所の下刈を2回行った。

### 事業成果

平成30年5月に補植した200本の大半が活着していた。ここは、特に生育環境の悪い場所。この1年半の間に計4回の下刈したことが良かったと思われる。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・樹齢30~40年のスギ林が崩落した。そこに植えた木は、一部に生育が悪い場所があるが、水位が高いためだろう。整地後も草も生えない期間があったが、いまは見違えるようだ。(土地所有者)

### 参加者の声

- ・崩落した山林を自然に戻すことは、想像以上に大変だ。裸地はなくなったので雨で土砂が流れることはなくなった。木を植えた子どもたちが、いつか立ち寄ってほしい。(会員)



下刈(1回目)



下刈(2回目)



下刈作業後



作業参加者の皆さん

### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

下刈面積：4ha

#### 参加者数

県内：22人

計：22人

## 北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動

岩手県八幡平市



### 事業概要

岩手県八幡平市・旧松尾鉦山跡地の植生再生のために実施してきた植樹について、さらなる定着や生長をめざした育種活動とその活動による環境意識啓発を行う。主な活動は以下のとおり。

①これまでに植えてきた樹木の剪定と追肥、枯損箇所の補植、②冬季の風雪から幼木を守るための防風柵の設置・補修、③育樹のための作業手順書の作成と事前講習・事業説明、現地指導。

### 事業成果

2012年度と2013年度に植樹した苗を対象に計画を上回り実施できた。団体参加者のうち高校(仙台市)は毎年生徒が

替わるため新規参加者といえるが、社会人はほぼ継続経験者。環境活動に関心のある大学生にも声をかけ新規に参加してくれた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・生徒にとって穴掘り器や剪定バサミなど不慣れな道具も多く、予定よりも時間がかかることを見込み、引率教員にも実務的な事前学習をしてもらった。(高校教員)

### 参加者の声

- ・育樹活動のあと、松尾鉦山跡地の問題や緑の再生の意義についての学習会をしていただき、成長を促すための剪定・追肥の大切さがわかった。(郵便局長会)



ハウチワカエデ、ナナカマドほかを補植



剪定や補植の説明



以前植えた木の剪定や追肥



防風柵設置と補修

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.54ha  
植付本数：340本  
樹勢回復：2160本  
下刈面積：0.18ha

##### 参加者数

県内：174人  
県外：272人  
計：446人

##### 樹種

ハウチワカエデ、ナナカマド、ミズナラ

## クマゲラの森再生活動

秋田県北秋田市



### 事業概要

過去に牧場開発で失われたブナ林を再生し、クマゲラをはじめとする多様な動植物が生息・生育できる環境の再生をめざすこと。主な活動は以下のとおり。

①自然再生のためのブナなどの植栽（一般参加による植栽含む）、②植栽した場所の下刈作業、③植栽地のモニタリング、④植栽用の苗木の確保、育苗など。

### 事業成果

昨年度までの調査などを踏まえて、今年度の植栽では客土量を増やして活着率の向上をめざした。令和2年6月に確認したところ、活着率は上々だった。引き続き、フィードバックを活かして自然再生活動を進めたい。また、令和元

年度の植栽には海外からの留学生が参加し、事業地周辺の自然環境について知ってもらうとともに、自然再生の意義についても理解してもらうことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・植栽地周辺の環境が厳しいので植栽した木の成長も早くはないが、継続していくことが大事ではないか。(60代男性)
- ・立地条件から参加の広がりが期待しにくい。(60代女性)

### 参加者の声

- ・初めて木を植えて楽しかった。大きくなったころにまた見に来たい。(留学生)



ブナの植樹



植樹地の下刈



地拵え



苗木仮植

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.3ha  
植付本数：99本  
下刈面積：2.3ha

##### 参加者数

県内：59人  
計：59人

##### 樹種

ブナ

## 森林ボランティア育成講座(第13期)

茨城県茨城町



## 事業概要

森林ボランティア育成講座を開催し、講座修了後は新しい森林ボランティアグループの設立をめざす。

県央地区を対象に受講生を募集し14人が受講。元年10月から2年6月まで講義3回を含めて実習を中心に計15回の講座を開催した。安全を最優先に森づくりの基本的な知識と技能を学んだ。受講生はすでに森づくりグループに参加している人もいて講座修了後の新しいグループ設立には至らなかったが、希望者7人が当グループに参加して森づくり活動を行うこととなった。

## 事業成果

講師は森林インストラクター・林業作業員経験者で、質の高い講義・実習ができた。受講生からは「安全を優先した技術が学べる」との評価を得た。

受講生のうち8人が女性であった。森づくり活動への意欲も高く、うち4人が当グループのメンバーとして継続して森づくりを行っている。

講座修了後も受講希望者があった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・植林後、下刈も間伐もできていなかったスギ・ヒノキ林をきれいにしてもらってたいへん助かっている。(山林所有者)
- ・自分の林業技術が講座を通して森林ボランティアをめざす人たちに役に立つことにやりがいを感じた。(林業作業員)

## 参加者の声

- ・普段は子育てに追われる毎日だが、月に1～2度ほど森づくりに汗を流すことがとても良い気分転換になっている。同世代のママさんたちといっしょなのも楽しい。(40代女性)
- ・相続した山林が荒れ放題で困っていた。森を整備するためのチェーンソーや刈払機の安全で実践的な使い方を学ぶことができて良かった。(60代)



手ノコで伐倒



チェーンソー講習



スギ間伐



ロープワーク講習

## 実績とりまとめ

## 作業内容

下刈面積：0.8ha  
間伐面積：0.8ha

## 参加者数

県内：145人  
計：145人



# 『トトロの森』狭山丘陵と周辺緑地での里山保全

埼玉県所沢市、入間市、東京都東村山市、東大和市、武蔵村山市



## 事業概要

ナショナル・トラスト活動により取得した『トトロの森』で、適切な里山管理を行うことで、良好な里山環境を再生し、生物多様性の保全や地域住民にとって安全・安心な生活環境づくりを進めていった。また、管理作業等を通して、緑地の持つ良さや作業の楽しさを伝え、仲間づくりを促進した。さらには、里山管理技術の継承のため、講習の機会を設け、若手ボランティアや職員の技術の向上に努め、持続可能な里山保全活動へと発展をめざした。

里山管理を行ったトトロの森を一般にも公開し、活動に参加していない多くの方々にも里山保全への理解を促し、狭山丘陵とその周辺に残されたみどりの保全に尽力した。

①下刈や常緑樹の除伐による明るい雑木林への移行、②危険・支障木の伐採による管理作業の円滑化と推進、③管理の進んだトトロの森の一般公開による普及啓発活動、④作業に従事するボランティア、職員の技術・安全意識の向上。

## 事業成果

昨年残ってしまった処理の難しい危険木・支障木処理を、外部委託により安全に処理できた。里山保全活動の経済的な側面からの持続可能性が高まった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・下刈や常緑樹を伐採することによって、明るい林になり、里山の生きものたちが復活するのを見ることができた。(協力団体メンバー)
- ・台風の際の枝折れや倒木への不安から、近隣の住民や隣接地主などからの苦情などもあるが、それらにもきちんと対応することで、より活動への理解が深まっていくと考える。(団体理事)

## 参加者の声

- ・トラスト運動がもっと全国規模で増えていくことを願っている。(70代男性)



ササ刈り



里山管理技術講習会



カタクリ保全のための落ち葉掃き



伐採した木は薪や木炭などに利用

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：6.0ha  
 除伐面積：6.0ha  
 間伐面積：6.0ha

#### 参加者数

計：1086人

## 雑木林の恵みを環境教育などで享受をしながらの継続的な整備

千葉県山武市



### 事業概要

整備してきた雑木林の整備継続、荒れたスギ林整備、雑木林やスギ林で得られた林産物を使って、小学校での木工授業を行い、次世代に森林の大切さをつないでいく。また森林資源をさらに活用するため、スギ枝からチップを作って身障者の授産施設であるブルーベリー畑にまいたり、コナラでシイタケのほだ木づくりを行う。

### 事業成果

雑木林は継続的に整備し周囲にも開放した。台風で折れた雑木を伐採し、シイタケ原木づくりを行った。小学生へ

の木工授業は20回行った。何校かいっしょに木工授業を開催でき、昨年より多くの児童に授業ができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- 小学生の木工授業は児童・教員・保護者にも好評であったが講師が固定化している。また、雑木林やスギ林の維持・管理についても新メンバーが少ない。

### 参加者の声

- 小学校の授業については児童や保護者や学校から感謝されている。子どもたちが短時間で作れるように部品を加工して準備している点も感謝されている。



台風で倒れたスギのかたづけ



スギの枝などでチップづくり



チップをブルーベリー畑にまく



シイタケの植菌

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：1.5ha  
 台風後森林整備：0.2ha  
 間伐材利用：0.1ha  
 森林資源活用：1.0ha  
 木工授業：20回

#### 参加者数

県内：24人  
 計：24人

## 親子でとりくむ「森のがっこう」の拠点づくり事業

千葉市若葉区



### 事業概要

持続可能な森づくりとそれを支える次世代の育成を行う。主な活動は、①定期的な森の整備、②木づかいプログラム、③里山で安全に過ごすための学びの提供、④環境保全の周知啓発イベントなど。

主な活動の対象は小学生とその親たち。活動拠点は、平成30年度より当団体が再生に取り組んでいる里山。

### 事業成果

小中学生の参加者募集を行ったと同時に、その保護者へも積極的に参加を呼びかけた。親子で体験することにより、各家庭の中でもさらなる関心や学びが深まり、また保護者の本事業への理解も得たことで活動への継続的な参加が確認できた。

9月の大型台風15号の影響は大きく、事業の継続が懸念されたが、倒木の活用について参加者と共に考える貴重な機会であると考え活動を続けた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・大型台風による被害を子どもたちが目の当たりにする機会(安全に配慮したうえで)を設けたことは自然の脅威や偉大さを知る貴重な体験だった。また、その倒木を生かした木工工作なども木使いを学ぶことにつながった。(プログラムサポーター)
- ・親子で参加しやすいプログラムを構築し、大人も巻き込んでいくよう心がけることで、より持続可能な活動になっていくと感じた。(小学校教員)

### 参加者の声

- ・木をきっているとちゅうで中から虫が出てきておどろいた。木は虫にとっても住み心地がいい場所なのだったと思った。きったばかりの木はけっこう重く、あまいにおいもした。(小学6年男子)



箸づくり(カンナの使い方を学ぶ)



ノコギリ体験



台風による倒木をベンチに変身させサスリで磨く



クヌギ、ウバメガシ、ホオノキほかを植樹

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.06ha  
 植付本数：23本  
 下刈面積：0.35ha  
 間伐面積：0.03ha  
 木工体験ほか

#### 参加者数

県内：406人  
 県外：32人  
 計：438人

#### 樹種

クヌギ、ウバメガシ、ホオノキほか

## 北浅川上流地区の森にホテルを飛ばそう!

東京都八王子市



### 事業概要

森林内の土壌改善を通じて枯れた沢を復活させ、森全体を健全化させるとともに水源かん養機能を高めながら生物多様性の高い豊かな森を創出する活動を行う。主な活動は以下のとおり。①沢の水の流れを停滞させている箇所や土砂等の除去、②表土が流出しやすくなっている箇所に枝葉を利用して小規模な土留めを作製、③炭や有機物を活用した土壌改善、④随所に溝や穴を掘ることでの大地の呼吸口づくり、⑤針葉樹が多く林床が安定していない場所への落葉樹の苗木植栽など。

### 事業成果

会がめざす「人と自然との共生」が、まずは土の中の見えない所に目を向ける所から始まり、森が健全であれば土砂災害も少なくなるなどのことなどにも共感を得ることができ

た。多くの人へ広がっていく可能性をつくることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・安易にホテルを他の場所から持ち込むのではなく、棲息可能な自然環境を時間をかけてでも再生させていくという手法は環境問題の本質に正面から向き合っていて、とても意義のある活動だ。定期的な生物調査をすることをお勧めしたい。(ビオトープ造成のスペシャリスト)

### 参加者の声

- ・人間が手を入れることでの美しい自然があるということを経験を通して強く感じる事ができた。そして、スコップ1本でもできる土中の手入れ、多くの人に知っていただきたい。これからも、生命を育む大地を守っていきたい。(30代女性)



水が枯れた沢の状況観察



炭と枝を利用した土留めづくり



### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.05ha  
 植付本数：20本  
 沢と林床手入れ：6回  
 オンライン勉強会：1回  
 森林観察：2回

#### 参加者数

都内：39人  
 都外：17人  
 計：56人

#### 樹種

コナラ、モミジ

## 長野県北信地域森林整備活動

長野県長野市、信濃町



### 事業概要

目的は、森を守り人と森の繋がり軸をつくること。主な活動は、①全国の大学生57人が過去4年間実施してきた縦が崎県有林の維持管理のための下刈、②県有林の二次活用として子どもたちが森の植物を学ぶ森林学習のイベント、③長野市田中での地元の方々との治山活動として水路や貯水槽の周辺の森林整備と倒木の運搬、④長野市田中で、ともに活動しながら森を守り・暮らしを守るといふことの浸透を目的とした現地交流会など。

### 事業成果

県有林においてこれまで整備した区域の再整備に新たに324㎡の下刈作業、長野市田中地区での治山活動で水路と貯水槽の整備。地域の方々だけでなく森林とは遠い生活を送っている人々と一しょに森で活動することにより、森林が抱える問題や環境問題を身近に捉え、関心を持つ人を増やす試みを形にした。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・継続的な実施によって整備面積も広がり森林の環境改善がはっきりと見られるだけでなく更新などの効果として現れている。学生ということで毎年メンバーの入れ替わりがあり、内部的な引継ぎがもっとうまくできるとよい。ただ整備するだけではなく、環境教育として楽しく次世代に伝えていこうという意識の高さに驚かされた。(県職員)

### 参加者の声

- ・自然の中で植物にふれ、自分にとっても新しい発見がありいい機会になった。(参加者の保護者)
- ・自分たちが整備してきた森を楽しんでもらうことを考え準備をしてきて、そこに子どもたちの笑い声が響いている時間は感動があった。(大学生)



森林整備



水路周辺の整備



森林学習イベントには子どもたち18人が参加



森を五感で楽しめるイベント

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：0.4ha  
交流会：1回  
勉強会：2回  
水路整備：210m

#### 参加者数

県内：38人  
県外：236人  
計：274人

## 宮の平植樹プロジェクト

埼玉県飯能市



### 事業概要

多くの人に森林を楽しんでもらうために、地権者と協力して、皆伐されたスギ・ヒノキの廃材処理から始めた。夏前に地拵えを実施。このプロジェクトの斜面は、2～3m ぐらいの間隔でしか列がつかれない。イベントでの植樹がスムーズに運ぶよう、植樹の穴掘りや支柱や幼令樹保護カバーなどを使った防獣策などを準備した。植樹には近所の方の参加もあった。

植樹の準備では、前もって作業しやすいように袋を10ずつの束にして一つずつ取り出せるようにまとめておき、支柱は植樹の場所に事前に刺しておくなどの工夫をした。

### 事業成果

廃材処理から始めた作業は大変だったが、これまでに多くの人の協力のもと500本を植樹できた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・高木となるコナラやクヌギは周辺に植え、ヤマザクラやカエデに影を作らないよう配置するよう指摘があった。

### 参加者の声

- ・ツツジを植樹する時、樹形のバランスを考えてと話したが、ツツジの葉が太陽光を受けやすい向きが良いとの指摘があった。活動内容に参加者が楽しめるような工夫がほしい。



地拵え



保護カバーを設置



ヤマザクラ、カエデほかを植樹



植樹後

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.2ha  
植付本数：110本

##### 参加者数

県内：11人  
県外：15人  
計：26人

##### 樹種

ヤマザクラ、カエデ、クヌギ、ツツジほか

## 森の次代を担う青年森づくり事業

東京都青梅市、日の出町



### 事業概要

森の次代を担う青年たちの森づくり活動である。主な活動は、授業を通じた森林活動への参加を積極的に促した。必要なサポートは、これまでの森林ボランティアを担ってきた人たちが、次代を担う青年たちを育てるために、世代を超えての取り組みをめざして全世代が共通のフィールドで取り組んだ。

### 事業成果

興味をもつ生徒が増え、地域のバックアップにつながった。なかなか手が付けられていないエリアを整備することにより、地域住民の皆さんとの交流にもつながった。

### 事業をよく知る関係者の声

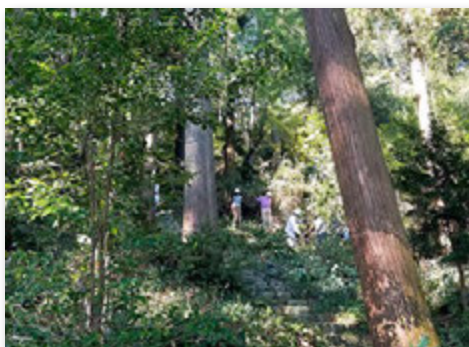
- ・授業での参加は、生徒にすれば必須となるが、授業以外の日での活動に参加できるような仕組みにしてはどうかという意見がある。学校のクラブ活動に発展させるのもひとつの方法かと思うが、学校側との調整・連携も必要。

### 参加者の声

- ・作業した場所がきれいになって気持ち良かった。(生徒)
- ・ノコギリの使い方を教えてもらったら、スムーズに切れて面白かった。(生徒)
- ・生徒が楽しそうに作業していて、普段の授業では見られない表情だった。(教員)
- ・植生などの話にも耳を傾けてくれる生徒もいて、若い人たちにいろいろ伝えたくなった。(指導員)



森林整備（青梅地区授業）



森林整備（青梅地区授業）



竹林整備（日の出地区現地講習）



竹林整備（日の出地区現地講習）

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

教員・指導員講習：7回  
授業：200人

##### 参加者数

都内：70人  
都外：15人  
計：85人

## 一般市民による湘南海岸林整備事業

神奈川県藤沢市、茅ヶ崎市



### 事業概要

昭和初期から植栽が進められている湘南海岸林において、維持管理をしている県藤沢土木事務所と連携を取り、海岸林の整備を目的として、①海岸林内のツル切り・下刈、②クロマツ苗圃の草取り、③除間伐。あわせて、海岸林の機能について学ぶ機会として森林教室、砂草の生育場でもある海岸の状況を知るための海岸清掃も行った。

### 事業成果

活動幅を広げるため、今年度は間伐を実施。ノコギリは初めてという人もいたが、楽しく安全に作業を進めることができた。2020年6月には、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、密集しない活動として初めて海岸清掃をしたが、砂浜と海岸林を整備することができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・湘南海岸林の維持管理に協力していただき大変助かっている。今後もこのプログラムを継続していきながら、活動内容もっと幅が出てくるよう協力できればと思っている。(藤沢土木事務所)

### 参加者の声

- ・普段できない経験で勉強になったと同時に気分転換にもなった。(20代大学生)
- ・疲労感もあったが、それ以上に満足感もあった。(30代会社員)
- ・木を伐るのがこんなに大変だと思っていなかったのが疲れたが楽しくできた。(20代会社員)



間伐



林内での下刈



苗畑での草刈り



海岸清掃

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈面積：1.66ha  
間伐面積：0.98ha

##### 参加者数

県内：40人  
県外：50人  
計：90人



## 神奈川県山北町における森林整備活動事業

神奈川県山北町



### 事業概要

森林の持つ本来の機能を十分に発揮させ、景観を保全していくことを目的として、主に①枝打ち、②雑木林の除伐、③ヒノキの間伐、④下刈などを行った。

活動によって、景観も整備され、健全な森林づくりが行われ、学生ほかの参加者が森林について学ぶ機会ともなった。

### 事業成果

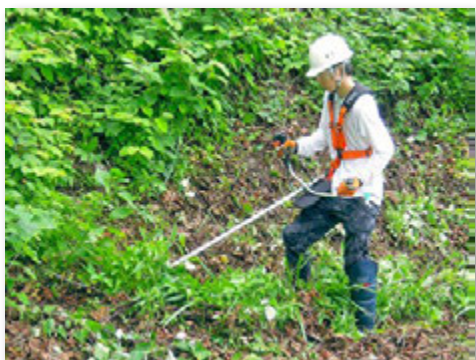
当初予定していた9回のうち3回が新型コロナウイルスの影響で中止、1回は天候不良のため中止となり、5回の実施にとどまった。参加者のうち複数回参加する学生もいて、技術の習得も進み、効率的に作業を実施できるようになった。

### 事業をよく知る関係者の声

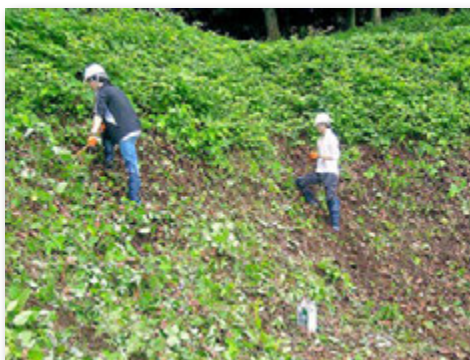
- ・活動地の環境整備もだいぶ進められている。地域住民からも感謝の声が届いている。今後はさらに活動エリアを広げてもらいたい。(町担当職員)
- ・継続して参加している人は技術的にも向上している。今後も安全に注意して多くの人に参加してもらいたい。(指導員)

### 参加者の声

- ・除伐などによって森が明るくなるとうれしい。森林を整備することは大変だが、その理由や意義を学ぶととても大切なことだと感じる。(20代学生)
- ・はじめてだったが、ノコギリの使い方を教えてもらいながら活動をすることができた。疲れた。(10代学生)



下刈



下刈



広葉樹の枝落とし



除伐

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈面積：1.06ha

除伐面積：1.06ha

間伐面積：1.06ha

##### 参加者数

県内：56人

県外：24人

計：80人

## 南高尾風景林の森づくりと森林体験スクール活動

東京都八王子市



### 事業概要

八王子市南浅川町の国有林、部分林及び隣接民有林を対象に森林の整備を行う。作業フィールドや宿泊研修施設を活用して森林体験教育を行う。主な内容は以下のとおり。①過密になっているスギ・ヒノキ人工林の間伐と風倒被害木等の処理、②ツル切り、除伐、林床整理、植樹、歩道整備、③企業や地域グループ、親子などを対象にした森林作業体験教育、④間伐材を利用した木製品の製作と福祉施設への寄贈など。

### 事業成果

間伐・除伐・植樹等の作業を新規の森林で行ったことで、整備した森林が拡大した。親子などを対象に19回の森林作業体験を行い森林理解の増進が図られた。また、企業と高

校の産学連携による森林作業や間伐材で学生がつくった木製品を福祉施設へ寄贈する活動に結びついた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・木材がどのように生産されるかを実践を通じて学んだことは有意義であった。これからも毎年この体験学習を続けていきたい。(高校教員)
- ・台風とコロナでできなかったのは残念で、来年度はぜひ行いたい。(教員)

### 参加者の声

- ・間伐のあと森が見違えるように明るくなった。(女性)
- ・山を良くするためには木を伐ることが必要だ。その木を使うことも大事だ。(男性)
- ・山の作業が大変だと初めてわかった。(30代女性)



親子ほかを対象にした森林教室



カツラ、トチノキほかを植樹



風倒木処理

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植樹面積：0.2ha  
 植樹本数：120本  
 間伐面積：1.3ha  
 ツル切り除伐：1.7ha  
 歩道整備：1.0km

#### 参加者数

都内：727人  
 都外：181人  
 計：908人

#### 樹種

カツラ、トチノキ、ヤマグリ、ヤマザクラ

## ボランティアによる参加型の日向の森

千葉県山武市



### 事業概要

都市住民や地域住民を対象に、初心者でも参加しやすいよう、プログラムに配慮した定例活動と成果発表および参加者増のための森林環境教育イベントを計画した。

令和元年9月の台風15号により、ここ日向の森でも甚大な被害が発生したため、9月以降は復旧を主とした活動に変更した。また、台風被害ならびに新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、環境教育イベントは中止せざるを得なかった。

### 事業成果

9月の台風被害が想定をはるかに上回り、熟練者の参加に限定せざるを得なかった。また、感染症の拡大により参加者を募っての活動が困難となったため、スタッフによる維持管理が中心となった。しかし、6月からの募集再開後にはこれまで以上の参加申込があり、活動の認知度はさら

に高まったと感じている。

### 事業をよく知る関係者の声

通常の伐採であれば現状の道具でも対応できるが、危険木除去などの特殊な作業を行う場合にはロープの強度不足や滑車やチルホールなど不足している道具が多い。熟練者が少ないため道具の選定にはより注意を払いたい。(危険木除去委託先NPO代表)

### 参加者の声

- ・定例活動の参加者が増えてきたと感じる。特に学生の参加が多く、リピーターになってもらうための工夫を考えてはどうか。(定例活動参加者)
- ・学校の単位を取るために参加したが、リフレッシュの機会になり森づくりに貢献できたという実感も沸いたので、今後も参加したい。(大学生)



台風被害復旧作業



被害木整理



枝打ち



スギを植樹

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.2ha  
植付本数：110本  
下刈面積：0.5ha  
間伐面積：0.2ha  
散策路整備：1300m

#### 参加者数

県内：64人  
県外：77人  
計：141人

#### 樹種

スギ

## 森林と竹林と里山林の実践整備活動

茨城県つくば市



### 事業概要

公有林の筑波山生活環境保全林と高崎自然の森公園の定期的な整備をすることで 地域と外部の人達が安全に利用できるようにする。

民有林の森林と竹林と里山林14箇所を定期的に整備をすることで、地域の環境と意識の改善する。

実践整備の作業内容は、間伐と除伐と下刈と植樹と林内整備と整理など。

年に12回の対象地の計画実施と4回の竹林整備で竹林再生植樹を行っている。

### 事業成果

竹林再生事業としてクヌギを植樹した。

クヌギを生産管理することで竹林地の再生ができることが明らかとなった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・市の担当部署や地域の民有林関係者は継続を希望している。
- ・今後の課題は、他団体と協力しながら進めていくこと。

### 参加者の声

- ・継続して活動していきたい。それは、自分の健康にもつながる。



タケの伐採



林内整備



下刈



里山14か所を定期的に整備

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：7.6ha  
 除伐面積：1.0ha  
 植付面積：0.8ha  
 植付本数：450本  
 水路整備：0.3ha  
 竹林伐採：1.7ha

#### 参加者数

県内：213  
 県外：153  
 計：366

#### 樹種

クヌギ、クルミ

## 谷戸川エリア環境整備事業

神奈川県大磯町



### 事業概要

多くの人が安全に安心して自然観察、ハイキング、サイクリングなどを楽しめるように谷戸川およびその周辺的环境整備を行うこと。活動内容は、谷戸川や町道沿いの草刈りや、倒れたタケや木、ゴミの除去、竹林の整備など。

### 事業成果

助成金により刈払機やチェーンソーを購入でき、作業効率が大幅にアップして、台風の被害で年間の作業回数が少なくなったにもかかわらず、より広い範囲の竹林を整備したり、町道や広場の草刈りも頻繁に行うことができました。また、大人数の参加にもノコギリなども揃っていて、作業が順調にできた。

### 事業をよく知る関係者の声

- 皆さんの地道な活動で、これまで鬱蒼としていたエリアが綺麗になり、町道を使う近隣の集落の方々からも感謝の声が届いている。「大磯チャレンジフェスタ」で活動の様様をPRすることもできてよかった。(町下水道課担当者)

### 参加者の声

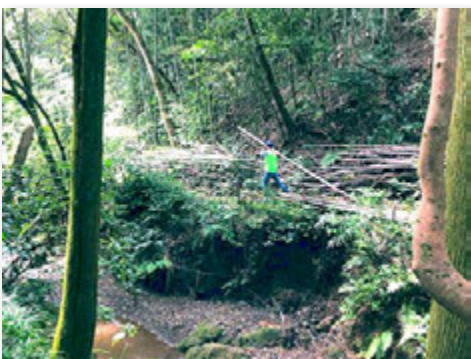
- 捨てられたバイクや家電を川から引き上げ、はびこるタケを切り払い続けて、少しずつ気持ち良い溪谷に近づいていると実感でき楽しい。(50代男性)
- 町の中にある宝石のような場所、谷戸川の貴重さです。私は体力的にボランティアとしての貢献度が低いのは残念ですが、この場所をこれからも大事にしていきたい。(60代女性)



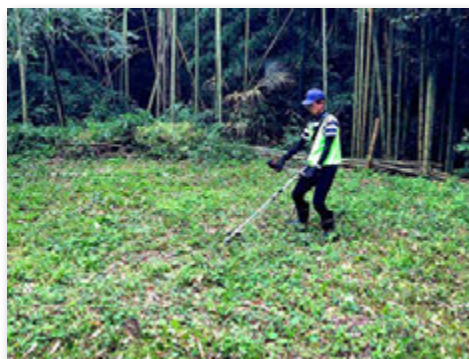
倒木処理



竹林整備



竹材の運搬



草刈

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

竹林整備：4回  
草刈り：2回  
ゴミ収集：550kg  
イベント：1回

#### 参加者数

県内：82人  
県外：10人  
計：92人

## 「山の学校」～水が繋ぐ地域と世代～促進事業

山梨県道志村、神奈川県山北町



### 事業概要

下流域の団体と連携し、学童や保護者を対象に各都市の水源地エリアをフィールドとし、森林の役割や水源林保全の重要性などについて体験学習を行う。主な活動は以下のとおり。①水源林保全の体験学習型「宿泊型・山の学校」の開校、②横浜市水源林で水源涵養学習、③水源林内での間伐体験、④間伐材を利用した木工体験、⑤ナイトハイク・自然学習環境講話、⑥木工体験、⑦間伐体験、⑧薪割体験など。

### 事業成果

水源地での体験学習をより充実したものとするため、宿泊型山の学校を実施。川下での啓発活動で山の学校に参加希望のあった横浜市内のスイミングスクール、音楽クラブの子どもたちや保護者が参加した。宿泊型にすることで上下流の交流、参加者の体験学習活動範囲にも広がりが生まれた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・横浜市の児童が、講習やジオラマを使った実験を行った後、実際に水源林の保全作業を行うことで、その重要性、作業の大変さをより理解してもらえた。クラフトで木材に触れ、木の良さを認識することにより間伐材利用の一助になればと期待している。(上流部体験学習企画、間伐・木工体験指導者)

### 参加者の声

- ・間伐がなぜ必要かということがわかった。大きな木が倒れる音にびっくりした。自分達でノコギリとロープで木を倒すのは大変だった。(道志村山の学校)
- ・間伐体験では斜面を担いで木を運ぶのが大変だった。皮むき間伐というのを初めて知った。タケを割って流しそうめん台を作り箸とコップも作る体験が楽しかった。(山北町山の学校)



伐採体験



間伐材を運ぶ



木工体験



水源林について学ぶ

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

水源涵養学習、間伐体験・自然体験・木工体験、山の学習、野外活動、上下流域交流

#### 参加者数

県内：25人  
 県外：5人  
 計：30人

## 富士山休養林の森林整備

静岡県富士宮市



### 事業概要

静岡森林管理署管轄の富士山休養林の森林整備、間伐適齢期になったヒノキの間伐を行う。この地域は、クマがいるがシカによる樹皮剥ぎが多い。食害木は成長を阻害し害虫が入り込み商品価値をなくす。活動の一環として食害防止策として間伐木を利用し既存木の保護も行った。

### 事業成果

新型コロナウイルス感染予防のため、7回の予定だったが4回のみ行った。

前年度よりチェーンソーによる伐木が上手くなり効率が良くなった。

開催ごとの参加者が増えた、チェーンソーによる伐木に興味を持つ人が増えた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・以前より計画が早く進み林内の整理が良くできている。チェーンソー使用後の手入れなどが良かった。(静岡森林管理署)

### 参加者の声

- ・富士山麓での間伐作業は良い体験になった。(女性)
- ・新型コロナで中止になることが多く残念だったが、やっと参加できて良かった。(女性)



間伐



確認しながら間伐を



伐採木の枝払い



間伐後

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

間伐面積：1.8ha  
 間伐本数：367本  
 食害防止本数：780本

##### 参加者数

県外：93人  
 計：93人

## 複数フィールドの持続的な竹林保全と活用

神奈川県横浜市、中井町、静岡県伊豆の国市



### 事業概要

複数フィールドの持続的な竹林の保全と活用の推進を目的とする。①密度管理を徹底して作業量を削減、作業効率の向上を図る。②間伐材や地域資源を活用したイベントを通じて地域住民の参加を促進、地域の活性化に貢献する。③タケノコや間伐材の持続的な利活用を通じて竹林の保全を図り、循環型社会を推進する。

### 事業成果

密度管理の徹底で立竹本数を減らし、間伐作業量を節減。また、チップパーに頼らない間伐材処理法として伐採竹をハンマーで割り、容積を小さくして林内に棚積みし腐食を促進、機械の移動コスト、経費の節減を図った。地域資源を

活用したイベントでは地元町内会、学生団体、企業との連携がさらに拡大した。間伐材とタケノコの活用では、間伐材で竹灯籠づくり、穂先タケノコで加工食品の製造販売を行った。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・小机城が「続日本の100名城」に選ばれ、「小机城址竹灯籠まつり」を町おこしのシンボルとして応援していきたい。支援の輪が年々広がっており、持続可能な町づくりにつながっている。

### 参加者の声

- ・大掛かりなイベントに参加できてうれしい。(学生)
- ・親切に教えてくださり作業もとても楽しかった。(学生)



間伐と集積



短かく切り分ける



落葉掻き



竹灯籠

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐面積：12ha  
竹灯籠まつり：1回

#### 参加者数

県内：1500人  
県外：200人  
計：1700人



## 森林の保全・整備と森林資源の利活用

神奈川県南足柄市、松田町



### 事業概要

森林整備や森林資源を利活用しながら、手入れの遅れた森林の整備の必要性を企業や団体に啓蒙したり、体験プログラムを通して森林の手入れの意義や重要性、森の大切さや素晴らしさを実感してもらう。

活動は、間伐、林内整備、植樹などの森林整備や自然観察、水生生物観察、森の持つ水源涵養機能の話、間伐材や森からの恵みを利用したクラフト作り、丸太切体験、森林探検などを行った。

### 事業成果

昨年は台風19号による甚大な被害で活動の取りやめもあり、間伐、自然観察や水生生物観察、森林癒やし体験、クラフト作りなどを行った。フォレスターズキッズキャンプでは、沢の近くで森に降った雨の行方や自分たちが飲む水がどこから来るのかを話し合い、元気な森にするには間伐などの森の手入れが必要なことを紙芝居で説明後、間伐や

丸太切体験などの活動を行った。今年は新型コロナウイルス感染症防止の観点から活動が取りやめとなった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・企業活動では、間伐などの森林整備体験や森林資源の多様な利活用に共感され、次回の活動に積極的な参加希望があった。大径木化した間伐は困難であり新たな場所での間伐体験が必要である。
- ・団体活動であるフォレスターズキッズキャンプでは主催側と十分な調整ができており、プログラム企画・運営は充実していた。子ども目線のプログラムの開発が今後も必要とされている。

### 参加者の声

- ・自然素材を利用したクリスマスリースは見ごたえのあるもので海外の方も多くが感動していた。
- ・森の荒廃と森の手入れを紹介した「しずくちゃんと森の仲間たち」の紙芝居に子どもたちは耳をそばだてていた。



間伐の見学



植樹



間伐木を利用した丸太切体験



落葉と土の観察

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：8本  
間伐面積：0.03ha  
林内整備：0.01ha  
イベント：11回

#### 参加者数

県内：215人  
県外：21人  
計：236人

#### 樹種

ナンテン、マンリョウ

# 楓の森づくりを核とした森林体験

新潟県魚沼市



## 事業概要

荒廃した場所に植樹を行い、森林を活用した体験学習や林業体験を行うこと。将来、サトウカエデの樹液を採取しメイプルシロップを加工することで、新たな特産品と雇用を生むこと。主な活動は、①ツリークライミング、②間伐材を利用した黒炭づくり、③地元の入広瀬小学校協力のもとサトウカエデを30本植樹。

## 事業成果

ツリークライミングでは、樹上からの景色や動植物などの様子をロープと安全帯を利用し観察した。

生活環境の変化や外国産の安い黒炭が輸入されるようになり、国内の生産量が激減したことで森林の荒廃が進んでいる現状と、どのように木炭が作られているかを体験。人が自然をただ利用するだけでなく、利用することが自然を守る活動にも繋がっていると認識することができた。

児童たちが協力し合いサトウカエデを植樹したことは、ここを訪れるたびに成長を確認する楽しみや、数十年後には自分たちがメイプルシロップを加工し、地域の特産品になる可能性を確認できた。

## 事業をよく知る関係者の声

・「自分たちの活動が、地域のためになっている」「地域活性化に繋がっている」と、子どもたちが意識する良いきっかけになった。植樹・炭焼き・ツリークライミングは、自然を活用した魅力的な活動と思われる。(保護者)

## 参加者の声

・ロープと安全帯を使用しているので、安心して木登りができた。子どもといっしょに高所へチャレンジすることや樹上で感じる風が気持ち良かった。(30代女性)

・サトウカエデが大きくなるのが楽しみ。メイプルシロップを食べてみたい。(小学6年)



サトウカエデを植樹



サトウカエデの苗木



ツリークライミング体験



間伐材で木炭づくり

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.08ha  
 植付本数：30本  
 ツリークライミング：月1回  
 炭焼き：1回  
 メイプル樹液採取ツアー：5回  
 整地・植樹直し作業：2回

#### 参加者数

県内：89人  
 県外：27人  
 計：116人

#### 樹種

サトウカエデ

## 鬼太鼓の森再生事業

新潟県佐渡市



## 事業概要

佐渡島の伝統的芸能である「鬼太鼓」で使用される太鼓やバチ等の材料となるケヤキ等を国有林に植栽し、保育等の森林整備活動を継続している。平成19年に造成して以来、当協議会とボランティアにより活動を実施してきたが、周辺のスギによる被陰や積雪圧の影響で植栽木の生育状況は思わしくない。そこで平成28年度より当再生事業を行っているところ。

今年度は、植栽木の光環境を改善するため、昨年度に引き続き被陰木であるスギを伐採するとともに、一般市民を対象に育樹などのイベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。イベントは中止したが、協議会の役員により植樹と下刈を実施した。

## 事業成果

被陰しているスギの伐採を行ったことでケヤキなどの植栽木の光環境が改善された。

また、過去に参加型イベントで植樹したエリアを下刈、さらにスギ伐採エリアに苗木の植樹を行ったことで、全体的に目的（太鼓やバチ等の材料木育成）に沿った環境へと森の様子が変化した。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・スギ伐採により植栽箇所の光環境が整ったが、伐採後のスギ残存木の成長に応じて今後も光環境は変化すると考えられる。
- ・一般参加者の増加を図るため、前回参加者への個別案内を行う。（緑化団体役員ほか）



ケヤキの植樹



下刈



伐採予定のスギ



スギの玉切り

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積：0.07ha  
 植付本数：16本  
 下刈面積：0.22ha  
 伐採本数：72本  
 伐採材積：29.45m<sup>3</sup>  
 獣害対策：0.22ha

## 樹種

ケヤキ

## 越前市の森が育む木育広場

福井県越前市



### 事業概要

荒廃が進む越前市三里山周辺の森を再生するため、地域の赤坂森づくりの会や行政・自治振興会・保育園・小学校と連携を図りながら、地域の間伐材を加工して木育資材とし、地元小学校・保育園・児童館などで木育活動を行った。また、市民親子向けに越前市の公共施設や商店街との協同作業により、地域材を利用した木育活動を行った。5月に、赤坂の森づくりの会と連携して植樹を行った。

### 事業成果

平成30年度に地域の森づくりの会の結成により、地域の里山を地域住民を中心として森林を整備する体制がモデル的にできあがり、小学校・公民館・ロハス越前や企業との

連携が進んだ。市民への森の大切さを伝える事が少しずつできてきた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・越前市三里山周辺の森を活かす木育広場は、市内や周辺の子どもたちにとって、貴重な体験活動になる。これからも子どもたちに、身近な森の大切さや森からの贈り物を使った木育広場の取り組みを応援したい。

### 参加者の声

- ・森林は大切な守るべき宝物だということがよくわかった。(小学生)
- ・これからも植樹活動や木を使い活かす木育活動にもっと参加し協力していきたいと思った。(60代女性)



認定こども園での木育授業



小学校での木育授業



木育ワークショップ



植樹祭

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：01ha  
 植付本数：30本  
 下刈面積：01ha  
 除伐面積：01ha  
 間伐面積：01ha  
 木育活動：21回  
 木育広場工房：38回

#### 参加者数

県内：2741人  
 県外：260人  
 計：3001人

#### 樹種

クワ、ホオノキ

# 荒れ果てた里山を救え!大場桜山再生プロジェクト

静岡県三島市



## 事業概要

放置竹林や放棄水田が拡大し、土羽水路が崩壊するなど豊かな環境が失われつつある三島市大場地区の「桜山」において、三島の原自然の里山環境の再生・復活のための保全活動を行う。主な活動は、地域住民や学生、専門家等との連携のもと、下刈や竹林伐採・チップ化、作業道・用水路整備、植樹など、全10回の実践的な保全活動を実施する。

## 事業成果

ホトケドジョウやミナミメダカ等、貴重な生き物が生息する土羽水路の修繕や、放置竹林・雑木林の手入れ、参加した地域住民や学生等への意識啓発、景観向上による当地の環境の豊かさの内外へのアピール等を着実に進めることができた。

## 事業をよく知る関係者の声

・将来にわたってその環境を保全していくべき里山を、行政依存ではなく住民主導により整備するだけでなく、住民主体による保全体制の基礎を築くこともめざした事業である。急速に失われている貴重な里山環境を地域住民自らの手で守るためのモデルケースとなることを期待する。(本会生態系アドバイザー)

## 参加者の声

- ・面識のない参加者同士が短時間でチームワークが生まれ、共同作業がスムーズに進んだことに感動した。老若男女による協働作業の楽しさを感じた。(10代男性)
- ・何気なく見てきた放置竹林の問題点が理解できた。タケの間伐が危険であり重労働であることが体験できた。作業後の景観の変化などに達成感を感じた。(10代女性)



水路沿いのタケ伐採



水路の手入れ



草刈り



水路補修

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：180本  
 下刈面積：0.35ha  
 除伐面積：0.1ha  
 水路整備：80m  
 作業道整備：100m  
 植樹地整備：0.1ha

#### 参加者数

県内：114人  
 県外：92人  
 計：206人

#### 樹種

クヌギ、コナラなど

## 間伐材の有効活用のための森林整備事業

愛知県東栄町



### 事業概要

間伐材を薪やチップなどに有効活用するため間伐を行った。間伐材搬出をスムーズに行うため、近年の台風被害などで崩壊のある林道を整備。間伐材搬出や薪・チップ作りを都会の人たちに体験してもらうため、「東栄の森へ行こう」というイベントを実施。

### 事業成果

間伐材搬出のために林道整備が大切と学んだ。「東栄の森へ行こう」のイベントは10回目だが、親子での参加もあり、またリピーター参加も増え山仕事を体験してもらいながら

森林資源の循環を知る普及啓発活動となった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・町内の子どもたちも山の作業を経験する機会は少ないので、学校と連携して活動ができないか。(小学校教員)

### 参加者の声

- ・以前から山仕事に興味はあったが、気軽に参加できるイベントで良かった。(50代女性)
- ・子どもいっしょに参加できるイベントで良かった。(30代女性)



間伐



林道補修



丸太横断溝の敷設



間伐材の搬出体験

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐面積：0.15ha  
 薪・チップ作り：5m<sup>3</sup>  
 「東栄の森へ行こう」：1回  
 林道整備：150m

#### 参加者数

県内：115人  
 県外：2人  
 計：117人

## 野外保育に対応した地域森の整備

三重県鈴鹿市



### 事業概要

野外保育に対応した里山整備を9月、10月、11月に行った。これまでに伐採した一部樹木の製材加工に加えて、ウッドデッキを設置した。また、ウッドチップを散策道に敷設した。イベント（森林環境教育と木育）については、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

### 事業成果

2期目の整備となり、散策道を延長した。また、地域森のシンボルとして、ウッドデッキを設置した。保育園児などを対象にしたイベントは新型コロナウイルスの影響が深刻となり中止となった。保育園や保護者からも、残念がる声を多くいただいている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・これまで見向きもされなかった里山の変化に驚いた。(保育園理事長)
- ・ウッドデッキが立派で、園児たちにも好評である。配慮された整備も素晴らしい。(保育士)
- ・野外保育に対応した里山整備の難しさを感じた。(講師)

### 参加者の声

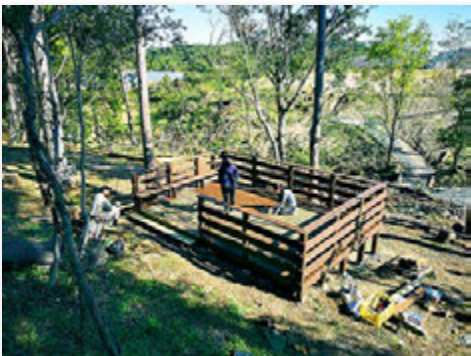
- ・ウッドデッキの設置工事に関心があり、参加できて多くを学んだ。
- ・子どもに配慮した整備が良かった。
- ・ウッドチップの使い方（散策道に敷設）が良かった。



支障木の伐倒



ウッドデッキ設置



完成したウッドデッキ



ウッドチップを敷設

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

散策道の整備  
 ウッドデッキの基礎工事  
 ウッドチップの敷設  
 ウッドデッキ設置工事

##### 参加者数

県内：25人  
 県外：12人  
 計：37人

## 資源利用による「やまんばの森」の再生と森林環境学習の推進

滋賀県米原市、長浜市、多賀町



### 事業概要

放置された里山を持続的に保全するため、森林資源を薪等として積極的に循環利用するとともに、森林環境学習・自然体験により将来の人材を育成した。また、老朽化した環境学習等の拠点施設の一部について修繕を行った。

### 事業成果

高所伐採や軽架線集材などの技術指導を受けることで、これまで技術的に伐採や搬出が難しかった箇所を森林整備・資源利用のノウハウを得た。

また、老朽化施設の修繕が一部完了したことで、子ども

等参加者の安全確保につながった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・墓などを損傷することなく伐採を行っている状況を見て信頼感が生まれた。台風シーズンに備えて、隣接する保育施設に影響を与えそうな所有地の伐採を依頼したいとの声が聞かれるようになった。(森林所有者)

### 参加者の声

- ・高所伐採に興味のある若手会員が、安全技術を身につけたうえで、もっと積極的に参加したいと思うようになった。(会員)



里山整備



高所伐採



資源活用



森林環境学習

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

- 間伐面積：1.1ha
- 森林資源活用：22回
- 施設修繕：8回
- 高所伐採作業：8回
- 高所伐採体験会：1回
- 軽架線集材：2回
- 自然体験：6回
- 森林環境学習：1回

#### 参加者数

- 県内：398人
- 計：398人



## 寺林の生物多様性の保全を通じた森林環境教育の実践

京都市左京区



## 事業概要

法然院寺林で継続している「観察の森づくり」において、生物多様性の保全をめざした森林環境教育を実践する。主な活動は以下のとおり。①生物多様性保全の視点のもと台風後の森の整備、②寺林における健全な生態系の回復をめざして、防鹿柵の設置、③適切な手入れの基本を学ぶため、地域の森林についての学習会（講演会）、④子どもたちと森林の生物多様性について考える学習活動。

## 事業成果

昨年度の課題を踏まえ「生物多様性の保全」というテーマを設定し、具体的に整備を進めることができた。風倒木の手入れの難しさを実感した。そして、防鹿柵の設置を行い、明るくなった林床からの自然実生を観察していく手がかりを得られた。京都府立林業大学校からの参加もあり、ネットワークが広がった。子どもたちにとっても台風後の森の様子は印象的なものであり、これからの変化を継続して観

察することの重要性と、生物多様性の保全に向けた手入れの必要性を学ぶことができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・目的のある森の手入れに共感を覚える。シカの影響は大きいですが、現状を受け止めつつ、できることから取り組んでいくべきである。（森林整備指導者）
- ・経済林とは違う価値観で森づくりに取り組むことは重要であり、継続性が問われる。（防鹿柵設置指導者）
- ・防鹿柵の設置は森全体の未来につながるものだった。視点を変えて森を見ることの大切さに気づくことができた。（ボランティアスタッフ）

## 参加者の声

- ・子どもたちの自然体験がまず大切であると思い、その場所があることが重要だと感じた。（60代男性）
- ・木や生きものが過ごしやすく楽しい森をつくりたい。（10代女性）



風倒木の整備



子どもたちも除伐



防鹿柵の設置



森の観察

## 実績とりまとめ

## 作業内容

除伐面積：1ha  
防鹿柵設置：2基  
学習会：6回

## 参加者数

府内：131人  
府外：2人  
計：133人

## 里山整備事業 第2期

兵庫県加東市



### 事業概要

森林の機能である、①温暖化の要因であるCO<sub>2</sub>の吸収を高める、②資源の成育を促す、③野生動物の生存エリアを確保し獣害の被害を減少、④土砂くずれ等の災害発生要因の減少、⑤幼稚園児への体験学習。また森林資源の有効活用として、間伐材の直接燃料化と木炭加工が進められればCO<sub>2</sub>の固定化ができ効果は大きいと考える。

実施内容は下記のとおり。①下刈、倒木及雑木除伐、②雑木除伐、スギ・ヒノキの間伐、③丹波篠山立杭焼に間伐材を提供、④工芸活用に工芸サークルに提供、⑤森の幼稚園児の体験学習、⑥工芸サークルとの協業による工芸素材の提供、⑦生物多様性について地域を調査ほか。

本年度は寺の自動車道南下から民家へ下る区域の森林である。長期(50年)に放置されていたので、ササや灌木が茂り、また倒木も多く荒れた森林だった。1.5haの下刈、倒木除伐、形状不良木除伐、雑木、スギ、ヒノキを間伐した。

### 事業成果

今回の森林機能の回復により地域のコミュニティの回復に少なからず寄与できた。また間伐材を有効利用すべく直接燃料化への外部提供と木炭加工による有効活用を計画したが、実施には至っていない。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・かつては、寺のふもと付近に民家が立並び、墓地、神社、地藏堂も周辺に点在し地域と寺を中心にしたコミュニティが守られていたであろうが、高齢化と過疎化が進み、失って久しいとのことであった。今後は寺関係者、参拝者、地域住民との交流増が楽しみである。付近は広大な森林に囲まれており、ボランティアで地域の整備を進めていただけるのは大変にありがたい。(住職)

### 参加者の声

- ・楽しい体験ができて良かった。(森の幼稚園)



森のお絵かき(森の幼稚園)



ノコギリ体験(森の幼稚園)



森林整備前



森林整備後

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：1.5ha  
 樹勢回復：1000本  
 下刈面積：1.5ha  
 除伐面積：1.5ha  
 除伐本数：1000本  
 間伐面積：1.5ha  
 間伐本数：1000本  
 通路設置：100m

##### 参加者数

県内：160人  
 計：160人

##### 樹種

スギ、ヒノキ、広葉樹など

## 森林環境教育推進拠点整備事業

山口市



### 事業概要

拠点としている里山を整備し、持続可能な社会づくりに向け問題解決に必要な能力、態度を身に付けることを目的とした森林環境教育を推進していく場所として整備発展させる。里山の季節ごとの農作業体験の他に、整備した山林は、専門業者による整備（子どもたちが作業を見学）・ボランティア等による整備（遊歩道修繕、竹林整備、雑林整備）を行った。

### 事業成果

大変危険な状態であった裏山の整備を専門業者によって行えたこと。また、シイタケのホダづくりの基本を学べた。また、このふたつの作業を子どもたちと見学できたことは貴重な体験であった。

毎月の作業としたことで、自分たちの植えた木や整備した場所が1年を通じてどんな姿を見せるのか、楽しみに足を運んでくれる参加者が増えた。

毎回、自然の中でのふるまいを伝えることにより、参加者の意識が変わるのを感じた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・よその人がたくさん来るようになり、町民各々が耕作放棄地の手入れなどを行うようになった。藪だったところがきれいになっていくのを見て、私も頑張らないと思うようになった。(地主)

### 参加者の声

- ・家族で参加でき、主人も山の中を歩くのが子どもの頃を思い出して良かったようです。(30代女性)
- ・学校も休みで、子どももストレスになっている中、今日も無くなるかと心配しましたが、あって良かったです。今日植えたアジサイが咲くのが楽しみです。(40代女性)
- ・息子がシイタケの菌打ちやアジサイの苗植えをとっても楽しんでやっている姿を見て「こんなのに興味があるんだ!」ととてもうれしく感動しました。(30代女性)



伐採木の整理



伐採したタケは柵など利活用



シイタケの菌打ち



サクラ、モミジほかを植樹

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：704本  
下刈面積：1.0ha  
除伐面積：1.0ha  
遊歩道補修：8m

#### 参加者数

県内：270人  
計：270人

#### 樹種

サクラ、モミジ、トチ、アジサイほか

## 里山整備事業

広島県福山市



### 事業概要

昨年7月の集中豪雨による土石流の跡地の復旧整備を目的に、苗木70本の植樹と斜面積1300㎡の種子吹き付けを行う。

また、足場の悪い地形なので安全管理に留意して植栽作業を行った。

### 事業成果

法面への植樹、種子吹き付けにより法面の保護が図られた。

### 事業をよく知る関係者の声

・急傾斜地なので注意して作業を行うよう指導した。(工事業者)

### 参加者の声

・急斜面で足場が悪く、なかなか効率が上がらなかった。(ボランティア)



マツ、クヌギ、モミジを植樹



種子の吹き付け



種子の吹き付け

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：70本  
種子吹き付け：0.1ha

#### 参加者数

県内：14人  
計：14人

#### 樹種

マツ、クヌギ、モミジ

## 岡垣町：放置竹林伐採・植樹プロジェクト

福岡県岡垣町



### 事業概要

町有地を作業の場所として活動している。元々この場所は、この団地を開発する業者が購入した土地であるが、30数年前に岡垣町が取得し、そのままの状態であったため、侵入竹などで荒廃していた。そのため緑化と美化のため整備し植樹している。①放置竹林の伐採、②荒れ地（雑木伐採）整備、③植樹後の下刈、④景観を考慮した樹種の植樹など。

### 事業成果

近くに住んでいる町民が積極的に草刈りや植樹に参加してもらえるようになり、地域の関心が高まった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・ウメが咲きとても心地よい。見違えるように綺麗に整備していただき感謝しています。（近隣住民）
- ・会の活動は10年となり、毎年植樹祭もしていて、継続した地道な作業に感謝している。（岡垣町役場住民環境課）

### 参加者の声

- ・新型コロナウイルスの影響で活動が制限され、また福岡県には緊急事態宣言が出されたことにより、一般参加者を受け入れることができなかった。



ウメを植樹



ミツマタを植樹



整備後は近隣の住民からも喜ばれている



ミツマタを植樹

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：100本  
 下刈面積：0.3ha  
 除伐面積：0.3ha

#### 参加者数

県内：280人  
 計：280人

#### 樹種

ウメ、ミツマタ

## 桜島新島町「ふるさと再生プロジェクト'19」

鹿児島市新島町



### 事業概要

桜島の北東に浮かぶ新島は、平成15年頃の松くい虫被害により荒廃した後は全島にダンチクやクズが生い茂り、2013年に無人島になった。島を再生し、青少年を対象とした森林環境教育の場としての環境づくりを行っている。主な活動は、①メイン道路・周回道路の伐開整備、②林間歩道整備、③林間広場・緑陰広場の整備、④被害により疎林化したクロマツやツバキの植樹、⑤市民を対象にした森林体験学習、⑥イモ掘り体験や自生するタケを利用しての竹竿づくりと魚つりなど。

### 事業成果

歩道に4mの階段を2カ所設置した。急な林間歩道に階

段を設置できたことで安全に散歩ができるようになった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・安全に通行するために、特に東側周回道路の古い階段工の補修が必要。また、草木の生長が早いため常に刈払いが必要。

### 参加者の声

- ・森林ヨガは癒された。イモもとてもおいしかった。(20代女性)
- ・島の再生、環境を守る大事さに触れることができ、自然に癒された。(40代女性)



ヤブツバキ植樹



林間歩道整備



林間歩道整備



森でのヨガ体験

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.01ha  
 植付本数：10本  
 伐開面積：0.35ha  
 道路整備：1840m

#### 参加者数

県内：441人  
 計：441人

#### 樹種

ヤブツバキ

# 大規模震災地におけるエコツーリズム手法を活用した森林管理運営体制の構築

北海道安平町



## 事業概要

胆振東部地震によって崩壊したはやきたこども園「北進の森」を、利用者や訪問者に参画を図りながら整備活動を行う。主な活動は以下のとおり。①崩壊した林に倒れた木の伐倒、②伐倒した木を土留材や杭に加工、③地滑り斜面の崩壊を防ぐための利用者や来訪者といっしょに土留作業、④伐倒した木の搬出（馬搬）、⑤搬出した丸太の製材とそのプロセスの共有（幼児及び教員）、⑥馬搬技術及び森林整備技術向上のための公開研修、⑦近隣から採取した種や苗による緑化、⑧播種及び植え付けに伴うシカ柵の設置。

## 事業成果

地滑りを起こした斜面をなるべく化石燃料を使わず、里山整備的手法を取ることで、園の利用者はもとより災害ボランティアや視察希望者などビジターが来るほど整備が進む、というモデルを構築することができた。また、馬搬を使うことにより、地域に埋れつつある技法や人材を発

掘することができた。土留材以外の余剰丸太については、簡易製材をすることにより園内で再び利活用し、木材の多面的な利用方法を開発することができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・いつかこのような整備活動をやりたいと思いつつも、専門性が高いため実現できないだろう、と思っていたことが多くの人に関わりによって実現できたことに、深い感激を抱いている。（こども園担当者）
- ・地震による地滑り斜面の緑化、というレアケースを林学を専攻する学生が、林学的な知見だけでなく多様な関わりによって推進される活動を経験することができたことは有意義である。（北海道大学担当教員）

## 参加者の声

- ・瓦礫の撤去なども重要であるが、緑化を経験することができて有意義だった。（震災ボランティア）



崩壊した林の倒木の伐採



地滑り斜面の崩壊を防ぐため、利用者や来訪者といっしょに進める土留作業



伐採木の搬出（馬搬）



近隣で採取した種や苗による緑化

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.02ha  
 植付本数：342本  
 除伐面積：0.02ha  
 搬出：50本  
 土留造成作業：0.02ha  
 製材：50本

#### 参加者数

道内：130人  
 道外：10人  
 計：140人

#### 樹種

アオダモ、ハルニレ、ミズナラ、カシワほか

## 次世代教育のための市民参加型の森づくり

北海道石狩市



### 事業概要

石狩市浜益地域の森林を教育フィールドとして利用していくための森林整備とプログラム整備を、多様な市民を巻き込みながら行い、森林資源の有効活用と市民参加型の森づくりを行う。実施内容は、①活用検討ワークショップ、②オリジナルプログラムの開発、③モデルプログラムの実施、④森林整備ボランティアツアーリズム。

### 事業成果

数十年間放置された雑木林であった活動場所を、人が入れるように下刈や間伐を都市部の青年層を中心としたボランティアと実施した。作業時には林業従事者を指導者として招き、林業や森林整備等について安全管理を行いつつボランティアに指導を行った。参加者は都市部で得られない体験を喜び、また整備後の活用方法等についても活発な意見による議論がなされた。

整備のほかに、山林を活用した子ども向けプログラムの

開発を行った。子ども達は自分なりの山林の活用方法や山林で過ごすことの心地よさを学んだ。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・整備活動では、安全管理からその重要性や価値を共有しながら進められ大変に有意義だと感じた。課題点としては、現状の人数では進みが遅く技術者だよりになってしまふ点がある。ボランティアと巻き込みながら実施するなどして解決したい。(林業従事者)

### 参加者の声

- ・価値がないと思われるものを利用できたら、山の中でやる意味がある。森に意味を感じる一日だった。(20代ボランティア)
- ・いろんな人たちといっしょに森を整備して、自分たちの空間を作っていく感覚がとても新鮮で面白かった。(10代ボランティア)



下刈体験



子ども間伐体験



ワークショップ



森林整備ボランティアツアーリズム参加者

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：0.9ha  
 除伐面積：0.1ha  
 ワークショップ：2回  
 整備体験ほかプログラム：2回

#### 参加者数

道内：48人  
 計：48人



## 里山保全の担い手を育てる自伐林業養成事業

北海道白老町、札幌市



### 事業概要

北海道内の各所に存在する未整備の里山林を保全する担い手づくりのための研修事業。その目的の達成のため、研修事業個別相談、チェーンソー安全講習会、QGIS研修、作業道視察研修、作業道敷設研修、広葉樹間伐研修を実施し里山保全の技術向上を図る。

### 事業成果

今年度は白老町と札幌市で実施し、多くの参加者があった。例年してこなかったQGIS研修も実施し、施業エリアの図面作成等を自身でできるように、高度な里山保全の

ノウハウを提供できた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・この3年間で多くの受講者が参加した。山に入るためには道を付ける必要がある。その担い手の登場に今後も期待したい。(作業道研修講師)

### 参加者の声

- ・札幌市の作業道研修では実際の現場が見られて良かった。
- ・小規模路網を取り付けた広葉樹林は美しい。広葉樹の間伐研修でホダ木を作ったが、自身の山でもホダ木をつかって販売したい。



チェーンソー安全講習会



QGIS研修



作業道敷設研修



間伐研修

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

間伐面積：0.4ha  
 作業道敷設：20m  
 QGIS研修：1回  
 チェンソー安全講習：1回

##### 参加者数

道内：45人  
 計：45人

## 間伐材活用による上下流協働の循環型「森活」プロジェクト

群馬県川場村



### 事業概要

放置されている群馬県川場村内の人工林を東京都世田谷区の住民が地元地権者等の村民と協力して整備する。主な活動は、①地元住民と協力した刈り払い・枝打ち・間伐、②植林とその育成のための下刈、③間伐材を燃料に、近くにある広葉樹や竹林・マツ林の整備で発生するタケとマツを原料として炭焼き、④地元で計画されているバイオマス利用への協力等による「循環型」の森づくりのサイクルの完成。

### 事業成果

川場村で進められている間伐材活用バイオマス利用の一環としてチップ化ボイラー焚きによるハウス等への熱利用について、燃料の提供を申し出た。しかし、積み出し・運び込みを実施する予定だった春、コロナ禍で活動ができず

足踏みとなった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・炭焼きの材料調達だけでなく炭焼き作業もまかせられる。ただ、炭の需要先（キャンプ・バーベキュー等）が少なく、炭焼きの回数が大幅に減った。この機会に炭焼き窯づくりを手伝ってもらい助かった。くらぶの高齢化による間伐量の減少に歯止めをかけるため地元でも参加を呼びかけたい。（指導にあたる地元地権者）

### 参加者の声

- ・世田谷区民が炭焼きなど間伐材活用について意欲的な取り組みをしているので刺激を受けた。（川場村交流会参加者）



間伐



間伐木の枝払い



間伐材は燃料ほかに活用



炭窯づくり

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐本数：66本  
除伐面積：2.5ha  
間伐面積：1.3ha  
炭窯づくり：1回

#### 参加者数

県内：86人  
県外：18人  
計：104人

## 海岸防災林や保全地区等の森林整備事業

千葉県山武市、長野県佐久市、東京都八王子市



### 事業概要

手入れ不足の森林を整備していくためには、山村地域に暮らす人たちと森林の公益機能を楽しむ都市住民との交流・協働を重ねていく必要がある。また、専門家との連携も大切となる。そのためには、関わる人たちが理解しやすい森づくりのストーリーを持つことが大切であり、それを解決するべく以下の活動を行う。

千葉県山武市(海岸防災林)下刈。長野県佐久市(コナラの森)手入れ不足の人工林を広葉樹の森へと再生させる。形質不良木の伐採と地拵え、植栽。東京都八王子市(上川の里特別緑地保全地区)照葉樹林化が進む里山の再生。照葉樹林化が加速している人工林の伐採と地拵え、伐採した木を使って散策路や階段づくりの資材づくり。埼玉県秩父市(市有林)手入れ不足の人工林をウイスキー樽が作れるミズナラの森へと再生させる。

### 事業成果



下刈



コナラの植樹



林内整備



伐った木を杭に加工し、散策路づくりの資材に

大型台風が多く、森林崩壊を招くなか、都市住民とのコミュニケーションが円滑に進み出し、森林の公益機能への理解が深まり、ボランティアの定着が高まるとともに、口コミによる初めての森林ボランティアへの参加が促された。福祉分野との連携の構想も出始めるなど、森林サービス産業創出に期待が持てる。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・苗木の活着率が高く防災機能を高めている。(行政関係者)
- ・保全と景観の両立にむけて、さらに1歩進めてほしい。(専門家)

### 参加者の声

- ・木こり体験ができ快感でした。(30代女性)
- ・小さいころの蓮沼の青々とした海岸林を知っています。津波で失われたと知りショックでしたが、その復元に参加できてうれしい。(50代男性)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.5ha  
植付本数：1500本  
下刈面積：4.3ha  
間伐面積：1.0ha

#### 参加者数

計：413人

#### 樹種

コナラ

# 富士山麓における森づくり整備活動

山梨県鳴沢村



## 事業概要

病虫害被害により枯死したシラベ人工林を生物多様性に富んだ災害に強い森に再生させるため、産官民で構成する協議会を組織し、協働による森づくりに取り組む。主な活動はボランティアによって植栽された約4万本の広葉樹の苗木が森となるために必要な育林作業である。具体的には、①獣害対策ネットの補修作業、②植栽木の成長を阻害する自然に生えてきた木の除伐、③下刈、④獣害・雪害・風害などの被害で枯れた植栽木の補植、⑤モニタリング調査、⑥地元小学生の体験活動支援、⑦普及啓発のため勉強会など。

## 事業成果

台風などの強風により、獣害対策ネットが苗木を巻き込んで倒れることがないように、ネットをより強固に支えるための補修作業を実施した。また、勉強会では補修作業とあわせて、活動地内で採取した枝などを使ってエアフレッシュナーやバームを作る体験を実施し、ボランティアがー

方的に森を守るという意識から、森と人が共存する関係であることへの理解につながった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・力を合わせて行うネット補修は、コツをつかんでいくと次第に手速くなり、仕上がりもきれいになったので、参加者にとって楽しく、また満足度の高い作業だった。(参画企業事務局)
- ・森のために活動して“あげる”という考えが頭のどこかにあった。森からの恵みを体験し知ること、実は、森づくり活動は人から森への“恩返し”で、相互に助けあう活動であると感じた。(参画企業担当者)

## 参加者の声

- ・一昨年参加した時に見た木々が、見て分かるほど成長している。(リピーター)
- ・私たち外国人が日本の森づくりに参加できる機会をいただき感謝しています。(在駐日メキシコ大使)



獣害対策ネット補修



補修された獣害対策ネット



下刈・除伐



参加者のみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：1.67ha  
除伐面積：1.67ha  
獣害ネット補修：1100本

#### 参加者数

県内：45人  
県外：250人  
計：295人

## 里山保全ボランティアの安全技能研修

横浜市旭区



### 事業概要

里山保全活動に参加している新人からベテランのボランティアを対象に継続的に安全技能研修を実施することで、里山保全活動の安全管理の徹底と技術向上を図る。今年度は、労働安全衛生法で高所作業におけるフルハーネスの着用が義務づけられたことを考慮し、①里山保全活動で使うハーネス使用方法とロープワーク研修会、②手道具（主にノコ・ナタ・カマ）の基本研修と FLC ランク 2 相当審査会、③ロープワークによる手ノコでの伐木研修を開催した。

また、当会は、第 2・第 4 日曜日に定例活動として樹林地整備を継続して実施した。なお、コロナ禍により、チェーンソーの基本動作研修は中止、安全管理研修は、作成した安全マニュアルを用いた内部研修として実施した。

### 事業成果

今年度は、川井緑地からの参加者が 9 割以上を占め、技術向上と安全管理の必要性が活動メンバーに浸透した。研修に FLC ランク 2 相当の審査会を取り入れたことも研修参加のモチベーション向上になったと考えられる。高所作業

に必要なフルハーネスが整備され、安全講習を実施したことで、高所作業時の安全性の向上を図ることができた。今までの研修成果をとりまとめ、安全マニュアルを整備できた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・経験の長い人ほど癖が付いているために、審査の際に条件付きとなる傾向があった。外部講師による安全研修は、活動が長い団体ほど必要と感じた。(当会研修担当理事)
- ・研修を受けただけでは習得した知識や技術を身につけることが難しい。定例活動の中でも、研修内容を忠実に復習できるような活動を行うことが重要。(当会ヤマ仕事担当理事)

### 参加者の声

- ・今年度はフルハーネスの講習など新たな内容が加わり、勉強になった。(50代男性)
- ・継続して学ぶことの大切さを理解した。(40代男性)
- ・ロープワークは日常的に活用しないと忘れてしまう。(60代男性)



ハーネスの使い方研修



ロープワーク研修



森づくり安全技術・技能全国推進協議会 (FLC) 審査会



道具研修

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：5.4ha  
除伐面積：5.4ha  
間伐面積：5.4ha  
技能研修：5回

#### 参加者数

計：50人

## 神武寺ハイキングコース整備、大池公園整備、チェーンソー講習

神奈川県逗子市、千葉県館山市、南房総市、君津市



### 事業概要

神奈川県逗子市・横須賀市の鷹取山ハイキングコース、逗子市の神武寺地域ハイキング道の環境整備及び、チェーンソーボランティアのOJT。台風15号による被災倒木の撤去、危険木の伐採など。

### 事業成果

危険木伐採を行った。加えてOJT的活動を行い、講習会開催に加えてチェーンソーボランティアの育成を行った。千葉県館山市に支部（館山復興ボランティアタスクフォース）を設立した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・感心が高いチェーンソーの講習会を開催できて良かった。（大房岬自然の家スタッフ）
- ・危険木を伐採してもらい心配がなくなった。災害復旧ではどうしても人家優先であり、ハイキングコース整備などは後回しにされてしまう。この整備はありがたかった。（地元ランナー兼整備グループ）

### 参加者の声

- ・チェーンソーの目立てのやり方が分かった。（清掃、草刈りを行うグループ）
- ・難易度が高い倒木撤去活動に参加できた。（災害ボランティア）



チェーンソー講習会



事前の打ち合わせ



危険木の除去



倒木の伐採

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

チェーンソー講習会：3回  
倒木撤去：約100本

##### 参加者数

計：184人

## 緑の遺産「胎内」災害に強い森づくり事業

新潟県胎内市



### 事業概要

松くい虫被害で喪失した海岸林を再生するため、地域住民や子ども達といっしょに海岸に適する広葉樹（シロダモ、エノキ、タブノキ、アベマキ）を植栽した。

### 事業成果

天候にも恵まれ、順調に作業を行うことができた。地域住民や子ども達が続いて植樹活動を実施したことから、地域の森という意識がより深まった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・今回で4回目の活動だったため慣れた手つきで植えている参加者が多かったのが印象的だった。子どもたちも上手に植えることができていた。地域のこの活動に対する思いが深まっている。（緑化推進委員会）

### 参加者の声

- ・当初からこの植樹活動に参加しているので、植えるのにも慣れてきた。次回もぜひ参加したい。（地元参加者）



植樹指導



エノキ、シロダモ、タブノキ、アベマキを植樹



205人が参加



ていねいに植樹

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.4ha  
植付本数：1960本

##### 参加者数

県内：205人  
計：205人

##### 樹種

エノキ、シロダモ、タブノキ、アベマキ

# 自然回帰・椿守の森づくり事業

島根県邑南町



## 事業概要

放置されている人工林の再生と水源かん養林の保全、これをツバキ植樹により実施する。主な活動は以下のとおり。

- ①スギ・ヒノキの枯損木伐採後の残木整理と裸地の下刈、②倒木の恐れがある枯損木の伐採、間伐と材の利用（歩道の崩壊防止柵等に利用）、③植栽予定地における作業道整備と地拵え、④ツバキ苗植栽活動を通して、持続可能な森林サービスの活用方法普及と活動継続のための「椿守の森づくり」植樹会員募集を行った。

## 事業成果

途中から降雨の中、足場の悪い傾斜地での作業となったが、事前準備と安全指導の徹底により150本の植樹ができた。これは、植樹祭に先立ち募集した「椿守の森づくり」会員の参加により支えられた。新型コロナウイルスの影響で、予定していた活動ができなかったが、今後は、持続的森林サービス活用事例普及のための学習フィールドとしても活用

していくことで、参加者が広がる可能性を確認した。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・植栽地では下刈作業等の整備活動が最低3年間、年4回の作業を継続する必要があるが、会員の協力により可能となった。（延命寺住職）
- ・参加者が様々な場所で同様の取り組みができるよう、講演会や研修等を実施してほしい。（緑化事業団体役員）

## 参加者の声

- ・ツバキが鳥媒花であることから生物多様性の学習につながり、森林保全活動への参加意識の向上に繋がる。（中学校校長）
- ・ツバキオイルを使った体験イベントは、幅広い年齢層にアピールすることから、森づくり活動の継続的実施のインセンティブとなる。（40代主婦）
- ・ツバキが育ってメジロがやってくるのが楽しみだ。（小学生女子）



作業道づくり（専門業者に委託）



植樹講習



150本のツバキを植樹



椿守の森会員のみなさん

## 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：150本  
 除伐面積：0.4ha  
 間伐面積：1.0ha  
 作業道修理：100m

### 参加者数

県内：43人  
 県外：7人  
 計：50人

### 樹種

ツバキ



# 全国の専門家達による災害に強い「島根の里山モデル林」づくり事業

島根県出雲市



## 事業概要

里山の森林を、どのようにしたら災害に強い森林にできるのか、そのヒントとなる里山的モデル山林を専門家の力を借りながら整備していく過程で県内の自伐林家へ災害に強い森林づくりへの関心を高めていく。①座学と出雲市佐田町私有林における現地研修からなる専門家による「災害に強い山林づくりの基本講座」、②橋本光治氏による「災害に強い壊れない作業路づくり」の研修、③専門家によるアドバイスを踏まえたボランティアによる災害に強い「里山モデル林」づくり。

## 事業成果

①当会の田中支部長が中心に行った研修では、森林経営をする中で災害対策をどのようにとっていくのか、災害にならない経営をするためのゾーニングや現地で注視すべきポイントなどを学習した。②作業路の研修では、踏査の仕方、崩れない作業路づくりの基本的な考え方、バックフ

ォー操作のコツ等を学んだ。③タケが侵入し放置され土砂崩れが危惧される斜面では、灌木を刈払い、災害対策で使われる樹木を植樹した。これらを通して、森林災害に立ち向かうための知識と意欲を持つ林業関係者や森林サポーターを県内に広げることができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・災害に強い森林づくりについて多面的に教えていただき、たくさん発見をさせていただいた。私たちの普及啓発活動の中でも取り入れたい。(NPO法人理事長)
- ・私が考えていた常識がこの事業を共にすることで多く改められた。(モデル山林の管理団体会長)

## 参加者の声

- ・大切な知識とハートを学んだ。(40代自伐林家)
- ・昔林業関係者から作業路は壊れても仕方ないと聞いていたが、橋本先生は根本から考えが違った。小さい林業にはこのやり方だと思った。(50代NPO職員)



災害に強い森林づくり研修



作業路研修



ケヤキ、オオバヤシャブシを植樹



除伐

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.2ha  
 植付本数：30本  
 除伐面積：0.2ha  
 研修：2回

#### 参加者数

県内：46人  
 県外：3人  
 計：49人

#### 樹種

ケヤキ、オオバヤシャブシ

## 薪林業で森林循環促進と持続可能な森林経営

高知県高知市、佐川町、日高村



### 事業概要

農山村社会の崩壊を肌で感じる中で、林地残材やC材からつくる“薪”を使って川上（農山村社会）と消費行動による川下（都市域）との連携を図り、環境と福祉を横串でつなぐ森林循環促進と森林経営を実践しながら、持続可能な森づくりを目的とする。放置林、伐期を迎えた樹林を対象に、長伐期択伐手法のもとAB材及びC材（林地残材）を伐り出し、薪化、中山間地域で薪を使った生活を営む高齢者宅や都市域の薪ストーブ利用者への薪宅配活動を実施し、薪林業による森林循環促進と持続可能な森林経営しくみづくり（生業もしくは副業）の検証を行った。

### 事業成果

林地残材の利活用を通じて、安定した森林林業経営（生業もしくは副業）が成り立つことがわかり、今後より多くの林

業への参加者が増えることが期待される。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・小規模林業が生業または副業として自立することの証明として“高知モデル”をしっかりと構築し、全国どの地域でも展開することのできる新しい森林林業のカタチを提唱していくことが、次のステップとなる。（高知県小規模林業推進協議会会員）

### 参加者の声

- ・素材生産業者や林業事業体に入らなくても個人・小規模グループで林業はできることがわかった。
- ・高密度で崩れない、ていねいな作業道の開設が基本となる森林整備を実践すれば、低投資、かつ、自分のライフスタイルで施業が行えることがわかった。



間伐研修



造材研修



搬出研修



薪づくり研修

#### 実績とりまとめ

**作業内容**  
 間伐面積：2.5ha  
 作業道開設：500m  
 搬出材：200m<sup>3</sup>  
**参加者数**  
 計：102人

## 入来浜海岸防災林保全活動

鹿児島県日置市



### 事業概要

入来浜海岸防災林は入来浜集落を保全すると同時に県立自然公園として多くの県民に親しまれている森林であるが、近年松くい虫の害や台風災害により欠損した部分も見られた。このため、地域住民と当研究所が協働で、欠損箇所を抵抗性クロマツ植栽と、中下層の暴風効果を得るためシャリンバイの下層木を植栽するとともに、歩道、ウッドデッキ、防風垣などを設置した。

### 事業成果

昨年の活動数量に加え、さらに抵抗性クロマツ100本増加

するなど、保全活動をグレードアップした。また、本年度は自治会住民に加え、来ていた観光客も活動に参加してもらった。

### 事業をよく知る関係者の声

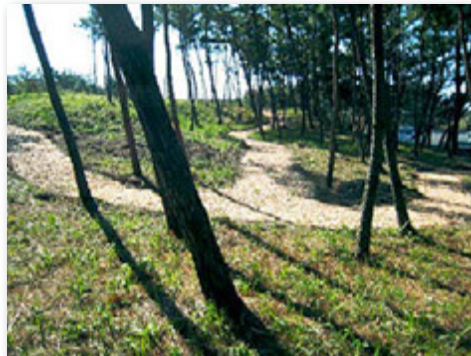
- ・大変すばらしい事業だ。「緑の募金」活動の広報にも力を入れていきたい。(日置市職員)

### 参加者の声

- ・自分たちの大切にしている海岸防災林の整備を自分たちの手でやっていくことに喜びを感じる。(入来浜自治会員)



クロマツ、シャリンバイを植樹



ウッドチップ歩道



竹穂防風垣30 m



参加者のみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.6ha  
植付本数：500本  
下刈面積：1.1ha  
ウッドチップ：4.0㎡

#### 参加者数

県内：63人  
計：63人

#### 樹種

クロマツ、シャリンバイ

